

## 第92回宮城県災害対策本部会議

平成23年9月7日10時00分

### 1 災害の概況

- (1) 発生日時 平成23年3月11日 14時46分頃  
(2) 震央地名 三陸沖(北緯38.1度, 東経142.8度 牡鹿半島の東約130km)  
(3) 震源の深さ 約24km  
(4) 規模 マグニチュード9.0  
(5) 最大震度 震度7(栗原市)  
(6) 津波 8.6m以上(石巻市鮎川:津波計等による津波の最大の高さ 平成23年6月3日仙台管区気象台発表)  
7.2m (仙台港:痕跡等から推定した津波の高さ 平成23年4月5日仙台管区気象台発表)  
※参考:「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による推定  
南三陸町志津川 15.9m 女川漁港 14.8m 南三陸町歌津 14.7m

### 2 被害の状況(余震による被害を含む)

#### (1) 人的被害(詳細別添)

死者	9,383人
行方不明者	2,283人
重傷	416人
軽傷(その他を含む)	3,587人

#### (2) 住家・非住家被害(詳細別添)

全壊	73,219棟	(調査継続中)
半壊	79,253棟	(調査継続中)
一部破損	148,288棟	(調査継続中)
床上浸水	7,096棟	(調査継続中)
床下浸水	10,989棟	(調査継続中)
非住家被害	27,192棟	(調査継続中)

#### (3) 避難所・避難者数(詳細別添)

避難所	118施設
避難者	2,888人

#### (4) ライフライン

別添のとおり

#### (5) 被害額(詳細裏面)

交通関係	12,401,446	(調査継続中)
ライフライン施設	166,815,501	(調査継続中)
保健医療・福祉関係施設関係	47,831,470	(調査継続中)
建築物(住宅関係)	3,537,500,000	(調査継続中)
民間施設等	735,000,000	(調査継続中)
農林水産関係	1,227,386,212	(調査継続中)
公共土木施設・交通基盤施設	1,004,602,000	(調査継続中)
文教施設関係	197,760,099	(調査継続中)
廃棄物処理・し尿処理施設	5,907,170	(調査継続中)
その他の公共施設等	70,547,623	(調査継続中)

計 7,005,751,521 千円

### 3 各部局の被害状況

別添のとおり

被害額の状況

単位:千円

項目		金額	概要	
交通関係 12,401,446	鉄道 10,660,000	阿武隈急行	386,000	
		仙台臨海鉄道	1,742,000	
		仙台市営地下鉄	1,250,000	
		東日本旅客鉄道	(調査中)	
		日本貨物鉄道	7,282,000	
	バス	1,318,000	仙台市営バス、宮城交通等	
	離島航路 423,446	塩竈市営汽船	25,746	
		大島汽船	327,700	
		網地島ライン	40,000	
		シーパル女川汽船	30,000	
ライフライン施設 166,815,501	水道 31,720,101	上水道	31,125,182	水道、水道用水供給事業施設
		工業用水道	594,919	
	電気	51,000,000		
	都市ガス	27,550,000		
通信・放送	56,545,400	電気通信施設、放送施設等		
保健医療・福祉関係施設 47,831,470	医療機関等	30,220,766		
	民間等社会福祉施設	16,789,214		
	その他県有施設等	821,490	県立社会福祉施設、宮城県立病院 機構等	
建築物(住宅関係)		3,537,500,000		
民間施設等 735,000,000	工業関係	590,000,000	建物・機械・設備備品等	
	商業関係	145,000,000	建物・商品等	
	自動車・船舶(漁船を除く)	(調査中)		
農林水産関係 1,227,386,212	農業関係	514,393,592	農地、農業施設、農作物等	
	畜産関係	5,009,460	畜舎、家畜、畜産品等	
	林業関係	13,665,705	林道、林地、治山施設、林産物等	
	水産業関係	684,997,841	水産施設、漁港、漁船、水産物等	
	その他(県所管施設)	9,319,614	船舶、水産技術総合センター等	
公共土木施設(仙台市含む)・ 交通基盤施設 1,004,602,000	高速道路 12,420,000	NEXCO東日本所管分	12,000,000	東北自動車道、仙台東部道路、 仙台北部道路、常磐自動車道
		宮城県道路公社所管分	420,000	仙台南部道路、仙台松島道路
	国直轄分	106,870,000		
	道路(橋梁を含む)	160,969,000		
	河川(ダムを含む)	115,597,000		
	海岸	98,990,000		
	港湾	76,270,000		
	下水道	363,470,000		
	その他公共土木施設等(空港、所管施設を含む)	70,016,000	砂防、公園等	
	文教施設 197,760,099	県立学校	26,428,955	
市町村立学校		51,355,887		
私立学校		11,409,888		
国立学校施設		69,000,000		
私立大学		3,755,830		
その他文教施設		35,809,539	社会教育施設、文化財施設、研究施設、 宮城大学等	
廃棄物処理・し尿処理施設		5,907,170		
その他の公共施設等 70,547,623	観光施設	21,600,000		
	消防関係施設等	16,428,000		
	警察関係施設等	10,271,472		
	その他	22,248,151	庁舎、県施設等	





【宮城県の天気予報】 7日5時 発表

東部

今日(7日) 南の風 晴れ

明日(8日) 南東の風 後 南の風 晴れ 昼過ぎ から 時々 くもり

海

今日(7日) 波 2メートル 後 1.5メートル

明日(8日) 波 1.5メートル

西部

今日(7日) 西の風 晴れ 夜 くもり

明日(8日) 西の風 晴れ 時々 くもり

気温 今日日中の最高気温	28度(仙台)
	26度(石巻)
	28度(古川)
	28度(白石)
明日朝の最低気温	20度(仙台)
	20度(石巻)
	18度(古川)
	17度(白石)

降水確率 (06-12)	10%(東部)
	10%(西部)
(12-18)	10%(東部)
	10%(西部)
(18-24)	0%(東部)
	10%(西部)
(00-06)	0%(東部)
	10%(西部)

【天気概況】

(( 東部の海岸や河口付近では、ここしばらく満潮時を中心に高潮による低地の浸水や冠水に注意して下さい。))

低気圧が沿海州付近にあって北東へ進んでおり、東北地方北部は気圧の谷となっていますが、南部は高気圧にゆるやかに覆われています。

【宮城県】

宮城県は、晴れとなっています。

7日は、概ね晴れの見込みです。

8日は、引き続き高気圧に覆われるため、晴れや曇りでしょう。

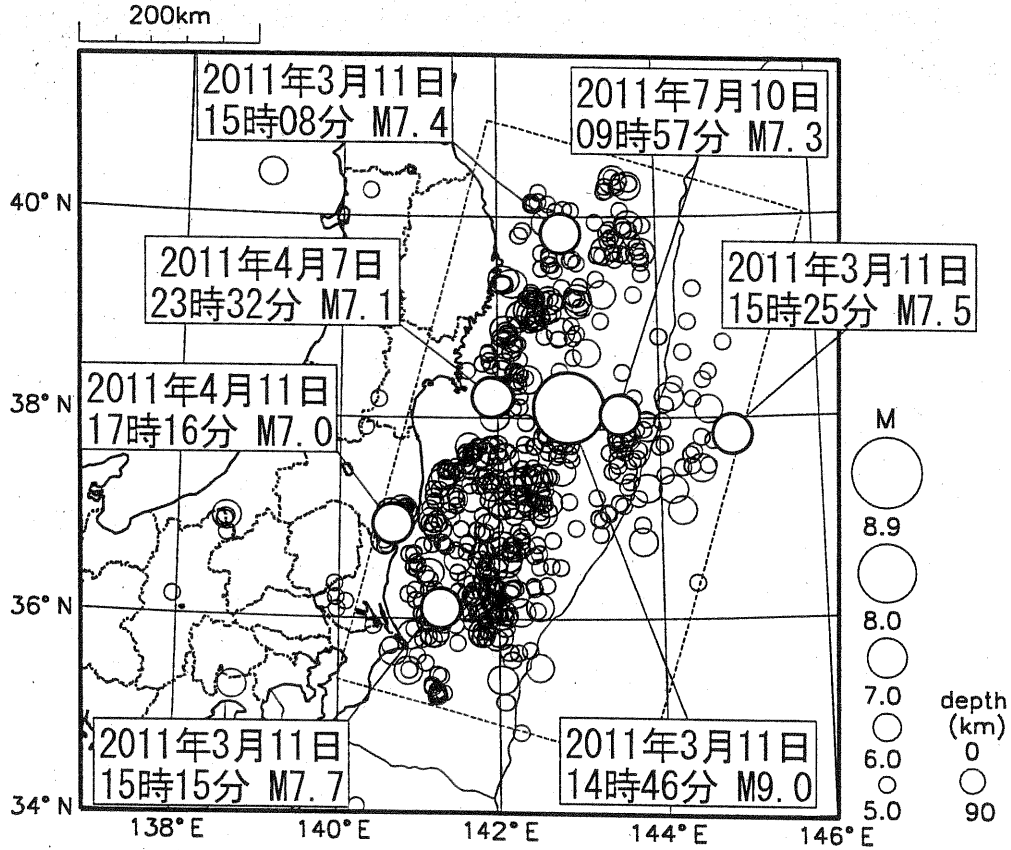
<天気変化等の留意点>

東部の海岸や河口付近では、ここしばらく満潮時を中心に高潮に注意して下さい。

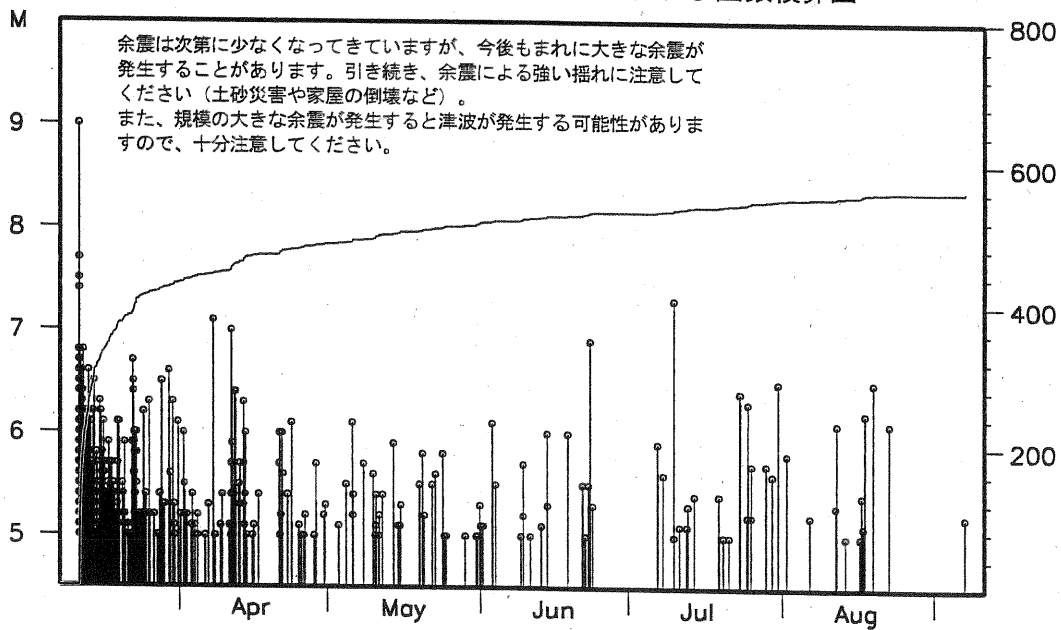
# 「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」 余震の活動状況（速報）

震央分布図

(2011年3月11日14時～9月07日07時、深さ90km以浅、M5.0以上)



上図の矩形領域内の地震活動経過図および回数積算図



地震の震源要素等には未精査のものがあり、再調査の後、変更することがあります。

# 復旧担当者・被災者向け気象支援資料（宮城県仙台市東部）

平成23年9月7日 5時00分

## 宮城県の天気解説

7日は、概ね晴れの見込みです。

<天気変化等の留意点>

東部の海岸や河口付近では、ここしばらく満潮時を中心に高潮に注意して下さい。

## 仙台市東部付近の天気

日 / 気温	7日 / 日中の最高28℃						8日	
	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時
天気								
3時間雨量(ミリ)	0	0	0	0	0	0	0	0
気温(℃)	16	23	27	28	24	21	20	19
風向	↑	↑	↑	↑	↑	→	↗	→
風速(m/s)	4	4	4	4	3	4	3	1
波の高さ(m)	1.5	1.5	1.5	1	1	1	1	1
潮位(cm)	-7	29	39	38	40	42	35	-6

風向 0m/s ↗1-4m/s ↘5-9m/s ◀10m/s以上 注意報基準(3m)以上の波は太字で表示します。

気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

潮位は標高0mを基準とし、各時間帯で最高となる予想値です。

## 週間天気予報（宮城県東部 気温：仙台）

日	7日(水)	8日(木)	9日(金)	10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)
天気	晴 	晴後時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	曇 
降水確率(%)	10/10/0	0/0/0/0	20	20	30	30	40
最高気温(℃)	28	28	30	30	29	28	27
最低気温(℃)	/	20	22	23	23	22	22

降水確率の1日目は、6-12/12-18/18-24時、2日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。





## 東日本大震災における被害状況等【総務部】

## 職員の被災状況について（知事部局）

- ・安否不明者 職員1人
- ・死亡者 職員8人（非常勤2人を含む）

## 施設関係（県庁舎、合同庁舎）〔被害額：2,205,500千円〕

- ・県庁舎、議会庁舎〔被害額：110,000千円〕議場天井破損（使用中止）、内外装損傷多数など
- ・大河原合同庁舎〔被害額：5,800千円〕駐車場ひび割れ、内壁一部破損、給排水管破損など
- ・仙台合同庁舎〔被害額：31,400千円〕天井・内壁破損、給排水配管破損、電気系統破損など
- ・大崎合同庁舎〔被害額：15,100千円〕排水配管・ガス配管破損、歩行通路破損など
- ・栗原合同庁舎〔被害額：1,600千円〕地下受水槽漏水、自家発電機漏油 など
- ・登米合同庁舎〔被害額：16,100千円〕受水槽漏水、階段・天井一部・機械室破損など
- ・石巻合同庁舎〔被害額：484,000千円〕設備関係全壊など
- ・気仙沼合同庁舎〔被害額：1,016,500千円〕全壊
- ・南三陸合同庁舎〔被害額：525,000千円〕全壊

## 施設関係（地方公所等）〔被害額：1,542,000千円〕

- ・知事公館〔被害額：7,000千円〕天井・壁の破損、庭園の四阿（あずまや）、灯籠が倒壊など
- ・公務研修所（東北自治総合研修センター）〔被害額：100,000千円〕各棟内壁のクラック及び破損、エレベーター2機故障など
- ・公文書館〔被害額：50,000千円〕館内壁面クラック、窓ガラス破損など
- ・仙台南県税事務所〔被害額：16,000千円〕建物の基礎部分の破損など
- ・塩釜県税事務所〔被害額：14,000千円〕所内壁のクラック及び破損、窓ガラス破損など
- ・東部県税事務所〔被害額：3,000千円〕公用車5台流失など
- ・気仙沼県税事務所〔被害額：5,000千円〕公用車5台流失など
- ・消防学校〔被害額：1,000千円〕校舎の外壁クラック及び校内アスファルト舗装クラックなど
- ・防災ヘリコプター管理事務所〔被害額：190,000千円〕1階部分及び格納庫内が流出土砂で壊滅状態
- ・防災ヘリコプター〔被害額：750,000千円〕、ヘリコプター関係車両等〔被害額：22,000千円〕流出大破
- ・防災関連システム〔被害額：304,000千円〕防災行政無線システム等の機器流失など
- ・防災資機材センター（オイルフェンス等備蓄倉庫：仙台港）〔被害額：80,000千円〕A棟半壊、B棟全壊、資材流出（油吸着材・オイルフェンスなど）など

## 職員宿舍関係〔被害額：188,000千円〕

- ・県内18箇所、22棟のうち、17箇所、21棟で被害
- ・気仙沼・石巻地区の宿舍については1階部分浸水、その他地割れ、地盤沈下、外壁ひび割れ等

## 私立学校関係

○私立幼稚園・学校等の被害状況〔施設被害額：11,409,888千円〕

（平成23年9月6日現在）

	幼稚園	小学校	中学校	中等教育	特別支援	高校	専修・各種	計
学校数	176	4	7	1	1	19	73	281
人的被害(人)	64(61)			1(1)		6(6)	1(1)	72(69)
うち死亡(人)	61(59)			1(1)		6(6)	1(1)	69(67)
うち行方不明(人)	3(2)							3(2)
施設被害(校(園)数)	157	4	7	1	1	19	62	251
休校・休園(校(園)数)	1							1

※人的被害数のうち（ ）は園児・生徒数で内数。本数字との差は教職員の被害者数となる。

## 宮城大学関係〔被害額：104,000千円〕

- ・人的被害 1人死亡（看護学部1年・女性・石巻市在住）
- ・建物に大きな被害は無いが、大和キャンパスの天井・壁や空調設備配管及び、実験用機械器具等に破損あり

## その他〔被害額：27,099,830千円〕

- ・私立大学施設等〔被害額：3,755,830千円〕・消防関係施設等〔被害額：16,428,000千円〕
- ・市町村庁舎等〔被害額：6,916,000千円〕

## 総務部関係被害額（※被害額は、調査継続中に付き暫定額である）

- ・庁舎等施設関係〔被害額：2,997,500千円〕
- ・防災ヘリコプター〔被害額：750,000千円〕
- ・職員宿舍関係〔被害額：188,000千円〕
- ・宮城大学関係〔被害額：104,000千円〕
- ・私立学校関係〔被害額：11,409,888千円〕
- ・その他〔被害額：27,099,830千円〕

---

計〔被害額：42,549,218千円〕

## 被災者生活再建支援制度関係

- ・市町村説明会実施 県南，県北ブロック及び沿岸部には，出向いて説明（3/24～3/31）
- ・被災者生活再建支援金の申請状況（9/5現在）  
基礎支援金 97,735件 加算支援金 24,896件

## 寄付金，義援金等の申し込み

- ・復旧・復興寄付金 3,461件 8,444,229千円（9/2現在）
- ・ふるさと寄付金 2,477件 149,397千円（9/2現在）

## 企業等からの支援

- ・（社）全国建設機械器具リース業協会より灯油，軽油，ガソリン，ストーブ，ブルーシート等の提供
- ・川崎重工業㈱からヘリコプター1機無償貸与，毛布，マスクの提供
- ・㈱広島マツダから車両10台（中古），自転車50台の提供
- ・スズキ㈱から原動機付き自転車20台，軽トラック10台の無償貸与（貸与期間2年間）
- ・日産自動車㈱から軽バン10台の無償貸与（貸与期間6ヶ月）
- ・㈱アイクーポーション（バイク王）から原動機付き自転車30台の無償貸与（貸与期間1年間）
- ・ダイハツ工業㈱から軽トラック25台，軽バン25台の寄贈
- ・㈱セイワから軽自動車3台の寄贈
- ・トヨタ自動車㈱から普通自動車100台の提供
- ・名古屋市から四輪駆動車42台，生活物資の提供
- ・マツダ㈱から軽自動車2台の寄贈
- ・プジョー・シトロエン・ジャポン㈱から普通自動車13台の寄贈
- ・クライスラー日本㈱からRV車（ジープ）1台の提供
- ・公益財団法人日本財団からトラック（2t）4台の無償貸与（貸与期間2年間）
- ・東京都からトラック（4t）3台（中古），道路パトロール車4台（中古）の提供
- ・社団法人日本自動車販売協会連合会宮城県支部加盟の5企業（宮城ホンダ販売㈱，㈱ホンダカーズ宮城中央，ネットヨタ宮城㈱，宮城トヨタ自動車㈱，宮城日野自動車㈱）から福祉車両等14台の無償貸与（貸与期間半年間）
- ・田中自動車㈱から普通自動車3台（中古），軽トラック1台（中古）の提供
- ・㈱北見ハッカ通商から普通自動車3台（中古）の提供
- ・社団法人日本自動車販売協会連合会宮城県支部加盟の4企業（ネットヨタ仙台㈱，㈱東北マツダ，仙台トヨペット㈱，宮城いすゞ自動車㈱）から普通自動車10台，トラック（3t等）2台の提供
- ・ビルマテル㈱からトラック（3t）1台の提供
- ・愛知製鋼㈱から小型自動車5台の提供
- ・（社）日本女子プロゴルフ協会から普通自動車等8台の提供
- ・コスモ石油㈱から普通自動車等15台（中古）の無償貸与（貸与期間2年間），車両用燃料の提供（2年間で2,000ℓ上限に使用できる給油カードの提供）
- ・社団法人宮城県自動車整備振興会から軽自動車1台の寄贈

# 震災復興・企画部関係情報 9月7日 8時00分現在

※下線が前回からの変更箇所

## 1 交通関係

### 【在来線各線】《運転見合わせ区間》

- ・常磐線 亘理 ～ 坂元(～久ノ浜)間 運転見合わせ
- ・仙石線 高城町 ～ 矢本間 運転見合わせ
- ・石巻線 石巻 ～ 女川間 運転見合わせ
- ・気仙沼線 柳津 ～ 気仙沼間 運転見合わせ
- ・大船渡線 気仙沼 ～ 上鹿折(～盛間) 運転見合わせ
- ・仙台空港アクセス鉄道 仙台空港 ～ 美田園間 10月1日運転再開見込み

### 【JR代替バス等】

- ・松島海岸 ～ 矢本間 (仙石線代替) 運行
- ・石巻 ～ 女川間 (石巻線代替) 運行
- ・志津川 ～ 本吉～気仙沼間 (路線バス延長・気仙沼線振替) 運行
- ・柳津 ～ 志津川間 (気仙沼線振替) 運行
- ・亘理 ～ 原ノ町間 (常磐線代替) 運行
- ・美田園 ～ 仙台空港間 9月30日運行終了見込み

### 【離島航路等】

#### 《運航状況》

- ・大島汽船 気仙沼 ～ 大島(浦ノ浜港)間 { フェリー : 1日8往復で運航  
旅客船 : 1日8往復で運航
- ・網地島ライン 石巻(工業港)～田代島(仁斗田港)～網地島(網地港)間 : 暫定ダイヤで運航
- ・塩竈市営汽船 塩竈～桂島～野々島～石浜～寒風浜～朴島間 : 暫定ダイヤで運航
- ・シーパル女川汽船 女川～江島間, 女川～出島寺間間 : 暫定ダイヤで運航

#### 《被害状況》

- ・大島汽船 所有船7隻中、2隻沈没、5隻は陸上に乗り上げ、人的被害なし
- ・網地島ライン 船舶被害なし、人的被害なし、社屋損壊
- ・塩竈市営汽船 船舶被害なし、人的被害なし
- ・シーパル女川汽船 船舶被害なし、陸員・船員に行方不明者あり、社屋損壊

## 【被害額等】

・阿武隈急行	386,000千円 (継続調査中)
・仙台臨海鉄道	1,742,000千円 (継続調査中)
・仙台市営地下鉄	1,250,000千円 (継続調査中)
・東日本旅客鉄道	(継続調査中)
・日本貨物鉄道	<b>7,282,000千円</b> (継続調査中)
・バス関係(仙台市営バス、宮城交通外)	1,318,000千円 (継続調査中)
・塩竈市営汽船	25,746千円 (継続調査中)
・大島汽船	327,700千円 (継続調査中)
・網地島ライン	40,000千円 (継続調査中)
・シーパル女川汽船	30,000千円 (継続調査中)
計	12,401,446千円

## 2 企画部所管施設関係

### 大崎市ふるさとプラザ

・建物被害は壁のひび割れ、誘導灯等落下、油量計損壊、非常階段、入口扉等	3,760千円 (継続調査中)
・建物敷地が液状化しており、地盤が50cm沈下し、マンホールが起伏	

## 3 情報システム関係

石巻、気仙沼、南三陸の3つの合同庁舎でネットワーク通信が不通  
石巻合同庁舎は、石巻専修大学に機能を移転し、通信可能  
(仙台、大崎、大河原、栗原、登米合同庁舎は通信可能)

## 【被害額等】

・行政情報ネットワーク(ハイパーウェブ分)	15,000千円 (継続調査中)
・行政情報ネットワーク(LAN分)	68,000千円 (継続調査中)
・事務用パソコン	8,400千円
計	91,400千円

## 4 ライフライン関係

## 【被害額等】

・電力(宮城県内の災害損失額)	51,000,000千円 (継続調査中)
・都市ガス	27,550,000千円 (継続調査中)
計	78,550,000千円

## 5 通信・放送施設関係

## 【被害額等】

・電気通信施設(固定電話、携帯電話、ブロードバンド)	55,698,000千円 (継続調査中)
・放送施設(テレビ、ラジオ、コミュニティFM)	690,000千円 (継続調査中)
・ケーブルテレビ	66,000千円 (継続調査中)
計	56,454,000千円

震災復興・企画部 合計 147,500,606千円 (継続調査中)

平成23年9月7日

8時30分現在

環境生活部

※下線は前回からの変更箇所

## 環境生活部の状況

### 1 水道関係 (9月5日16:00現在)

#### (1)被害状況

震災時断水戸数	620,652戸
復旧戸数	599,174戸(96.5%)
当面復旧困難戸数	21,478戸(3.5%)

- ・津波等による被害のため沿岸部等の地区が復旧していない市町村(11市町)

仙台市, 石巻市, 気仙沼市, 名取市, 岩沼市, 東松島市, 亶理町, 山元町, 七ヶ浜町, 女川町, 南三陸町

#### (2)水道水中の放射性物質の測定結果 (別紙資料)

各市町村で測定を実施。これまで指標値を超える結果は測定されていない。

#### (3)浄水発生土の放射能物質の測定結果 (別紙資料)

各市町村の水道事業で発生した浄水発生土について、測定を実施。これまで4浄水場において管理型処分場に埋立可能なレベルを超える値を検出している。

### 2 埋火葬関係

#### (1)埋火葬関係

##### ①通知等

- ・全国知事会あてに、火葬の支援を要望(3月14日発出)
- ・市町村に対し土葬関係の手続きを通知(3月16日)
- ・市町村に対し埋葬処理の方針及び状況を確認

##### ②燃料手配

- ・延べ17か所に57.4キロリットル手配済

##### ③火葬

- ・県内火葬場及び県外協力火葬場の稼働状況(受入可能数)を市町村へ提供
- ・火葬代の個人負担免除について市町村へ通知(3月22日)
- ・東京都内火葬場における火葬受入について、関係市町に周知(4月8日)
- ・東京都内火葬場への御遺体の搬送開始(4月11日)
- ・東京都内火葬場での御遺体の火葬開始(4月15日)
- ・東京都内で火葬した遺骨の返還開始(4月27日)

#### (2)棺等葬祭用品

- ・宮城県葬祭業協同組合, 全日本葬祭業協同組合連合会, 全国霊柩自動車協会に支援要請

### 3 廃棄物関係

#### (1)応急処理

- ・環境省より、災害の予防、応急対策又は復旧のために必要な野外焼却は、例外的に認められる回答有(3月12日)
- ・震災廃棄物処理対策検討チームの設置(技術次長以下4班体制)(3月14日)
- ・災害廃棄物の処理や燃料調達の円滑化について、国に対し要望(3月17日)
- ・阪神淡路大震災に係る兵庫県廃棄物行政経験者(3人)来県(3月17, 18日)
- ・山形県庁や県内外業界団体の支援により、県内のし尿を汲み取り、山形県内で処理中

- ・仮設トイレ搬入完了（6市町に計712基）
- ・鹿児島県環境整備事業協同組合から宮城県生活環境事業協会へバキューム車9台、パッカー車3台、合計12台を無償譲渡。3月26日以降、気仙沼市、多賀城市、石巻市へ順次配備。
- ・被災家電の処理方法を市町村等に対して通知（3月24日）
- ・国より、損壊家屋等の撤去等に関する指針を関係県に通知（3月25日）
- ・災害廃棄物処理の基本方針策定（3月28日）
- ・被災自動車の処理方針策定（3月29日）
- ・宮城県災害廃棄物処理対策協議会を設置（4月13日）
- ・名取市、岩沼市、亶理町及び山元町におけるがれき処理の事務委託の受理（4月15日）
- ・がれき・衛生等に関する電話相談窓口の設置（7月4日）（9月6日現在の相談累計は27件）

## (2) 施設の被害状況

明らかに被害状況が確認されている施設は、次のとおり

- ・亶理名取共立衛生処理組合亶理清掃センター（粗大ゴミ）建物崩壊
- ・仙台市南蒲生環境衛生センター（し尿）全壊
- ・石巻広域クリーンセンター（焼却）浸水 他53施設

## 4 福島第一原子力発電所事故に関する対応

- ・主管課長等連絡会議の設置（3月15日）
- ・電話相談窓口の設置（3月16日）（9月6日現在の相談累計は6,085件）
- ・原子力安全保安院より原子力立地地域（1道13県）の東京事務所に対し説明会の開催（16日～）
- ・空間放射線モニタリング調査（3月14日から）（別紙のとおり）
- ・水道水の放射能測定（3月25日から週1回実施。）（別紙のとおり）
- ・海水の放射能測定（測定日4月13日、5月11日）
- ・各市町村へ簡易型放射線測定器を配布
- ・放射性物質の影響に係る当面の測定方針を作成（6月29日）
- ・県内全市町村における空間放射線線量率の定点測定の開始（7月11日から）（別紙のとおり）
- ・東京電力福島第一原子力発電所事故対策本部を設置（7月19日）
- ・国に対し、「宮城県内における、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う被害への対応を求める要望書」を提出（7月25日）
- ・学校・幼稚園・保育所等の校庭・園庭等における空間放射線線量率を測定（6月～7月）
- ・降下物の放射能測定（測定日8月10日）
- ・（仮称）東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議を設立（9月12日）（別紙のとおり）

## 5 家畜死体の処理関係

- ・被災により発生した家畜死体を処理するため、家畜所有者あるいは市町村等からの申請に基づき、場外埋却を許可

埋却許可 (畜種別)	牛		豚	
	申請件数	埋却頭数	申請件数	埋却頭数
	13	39	1	200
埋却場所	石巻市、大崎市、南三陸町		岩沼市	

## 6 ペット関係

- ・緊急災害時被災動物救護本部の設置（※宮城県獣医師会の協力による。）  
場所：動物愛護センター  
業務：避難動物等の収容場所の確保・救援物資の受入

## 7 食品衛生関係

- (1) 食中毒の未然防止
  - ・避難所に対し、食品衛生監視員を派遣し、食品の衛生的な取扱い、加熱処理、食用不適な食品の廃棄、器具・容器等の消毒等について指導
  - ・食品衛生監視員を食品の流通集積拠点に派遣し、食品の配送等における衛生確保について指導
  - ・弁当提供施設等に対する衛生指導
- (2) 食品の放射性物質検査等
  - ・放射性物質が検出された稲わらを給与した牛の肉の流通状況調査及び当該牛肉の検査

## 8 企業等からの支援の動き

- ・三菱自動車工業（株）からEV（電気自動車）10台貸与。5市町村及び県地方機関に配備
- ・日産自動車（株）からEV（電気自動車）3台貸与。県地方機関に配備
- ・三菱商事（株）からEV（電気自動車）6台貸与。2市町村及び県地方機関に配備
- ・（株）オーエスからモバイルソーラーユニット等提供。石巻市に配備

## 9 施設被害額（現在継続調査中）

区分	被害額（暫定）（千円）	備考
環境生活部所管施設	4,510,429	13施設判明分
水道施設	30,085,804	11,213件判明分
火葬場	1,279,663	24施設判明分
廃棄物処理施設	5,907,170	40施設判明分
計	41,783,066	

## 10 今後想定される対応

### 《環境対策課》

- ・水質汚濁防止法に基づく特定事業場からの有害化学物質の流出等の有無の確認（湾岸地域等の一部を除き調査済み。）

### 《廃棄物対策課》

- ・災害等廃棄物について、市町村と連携した撤去・処理を実施

〇水道水中の放射性物質の測定結果について

各市町村等が実施し、本県に報告のあった測定結果を基に作成したもの。

Table with columns: 市町村, 水道事業名, 採取地点, 採取年月日, 核種濃度 (Bq/kg) for 131I, 132I, 134Cs, 137Cs. Lists monitoring data for various municipalities like 仙台市, 石巻市, 塩竈市, etc.

Table with columns: 市町村, 水道事業名, 採取地点, 採取年月日, 核種濃度 (Bq/kg) for 131I, 132I, 134Cs, 137Cs. Lists monitoring data for municipalities like 七ヶ宿町, 大河原町, 川崎町, etc.

※ 用水供給事業による検査とは、県企業局から受水し水道水の供給を行っていることから、県企業局が行っている浄水場の検査結果を参考にしているもの。
◇検査結果については、最新のデータを公表しています。

【参考】原子力安全委員会が定めた飲食摂取制限等に関する指標値 (Bq/kg)

Table with 2 columns: 放射性ヨウ素 (300), 放射性セシウム (200)

◇この検査結果は、厚生労働省ホームページにも掲載されています。
http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/kenkouai/houshasai\_monitoring.html



## ○市町村水道事業における浄水発生土の放射性物質の測定結果について

市町村の水道事業で発生した浄水発生土について、放射性物質の測定を行ったもの。

市町村	水道事業名	採取地点	採取地 (試料名)	採取月日	測定月日	核種濃度(Bq/kg)			
						<sup>131</sup> I	<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs+ <sup>134</sup> Cs
石巻市	石巻広域水道企業団	蛇田浄水場	—	7月28日	7月30日	ND	296	222	518
		須江山浄水場	—	7月28日	7月30日	ND	343	273	616
		六本木浄水場	—	7月28日	7月30日	ND	70	60	130
塩竈市	塩竈市水道事業	梅の宮浄水場	西側沈殿池	7月21日	7月29日	ND	ND	ND	ND
			東側沈殿池	8月18日	8月22日	ND	551	402	953
気仙沼市	気仙沼市水道事業	館山浄水場	—	7月28日	7月30日	ND	1,344	1,060	2,404
名取市	名取市水道事業	高館浄水場	(5/31~7/5)発生分	7月7日	7月11日	ND	6,408	5,238	11,646
			(7/7~8/1)発生分	8月4日	8月9日	ND	2,859	2,190	5,049
			(8/2)発生分	8月4日	8月9日	ND	2,155	1,918	4,073
多賀城市	多賀城市水道事業	末の松山浄水場	—	7月20日	7月29日	ND	33	32	65
角田市	角田市水道事業	枝野浄水場	—	7月14日	7月19日	ND	1,309	1,079	2,388
		小田浄水場	—	7月14日	7月19日	ND	5,072	4,536	9,608
岩沼市	岩沼市水道事業	玉崎浄水場	1号池	8月18日	8月22日	ND	15,085	12,107	27,192
			2号池	8月4日	8月9日	ND	11,889	9,235	21,124
			3号池	7月7日	7月11日	ND	2,620	2,129	4,749
			4号池	8月18日	8月22日	ND	879	789	1,668
登米市	登米市水道事業	保呂羽浄水場	1号池	8月4日	8月9日	ND	632	509	1,141
			2号池	8月4日	8月9日	ND	742	612	1,354
			3号池	8月26日	8月29日	ND	385	297	682
			4号池	8月26日	8月29日	ND	365	306	671
			5号池	8月26日	8月29日	ND	198	161	359
			6号池	8月26日	8月29日	ND	146	153	299
			7号池	7月21日	7月29日	ND	332	270	602
		石越浄水場	—	7月21日	7月29日	ND	976	857	1,833
丸森町	丸森町水道事業	石羽浄水場	1号池	7月14日	7月19日	ND	4,057	3,084	7,141
			2号池	8月11日	8月22日	ND	2,125	1,630	3,755
		黒佐野浄水場	乾燥池	8月11日	8月22日	ND	109	59	168
亘理町	亘理町水道事業	田沢浄水場	—	7月14日	7月19日	ND	790	692	1,482
			(7/22~8/11)発生分	8月11日	8月22日	ND	828	779	1,607
松島町	松島町水道事業	二子屋浄水場	1号池	7月14日	7月19日	ND	629	570	1,199
			2号池	8月11日	8月22日	ND	627	452	1,079
利府町	利府町水道事業	利府浄水場	乾燥床	7月21日	7月29日	ND	4,558	3,680	8,238
			濃縮槽	8月11日	8月22日	ND	ND	ND	ND
涌谷町	涌谷町水道事業	福沢浄水場	—	7月7日	7月11日	ND	ND	ND	ND
女川町	女川町水道事業	鷲神浄水場	2号池	7月7日	7月11日	ND	ND	13	13
			1号池	8月18日	8月22日	ND	ND	ND	ND
美里町	美里町水道事業	美里町浄水場	—	7月7日	7月11日	ND	118	148	266

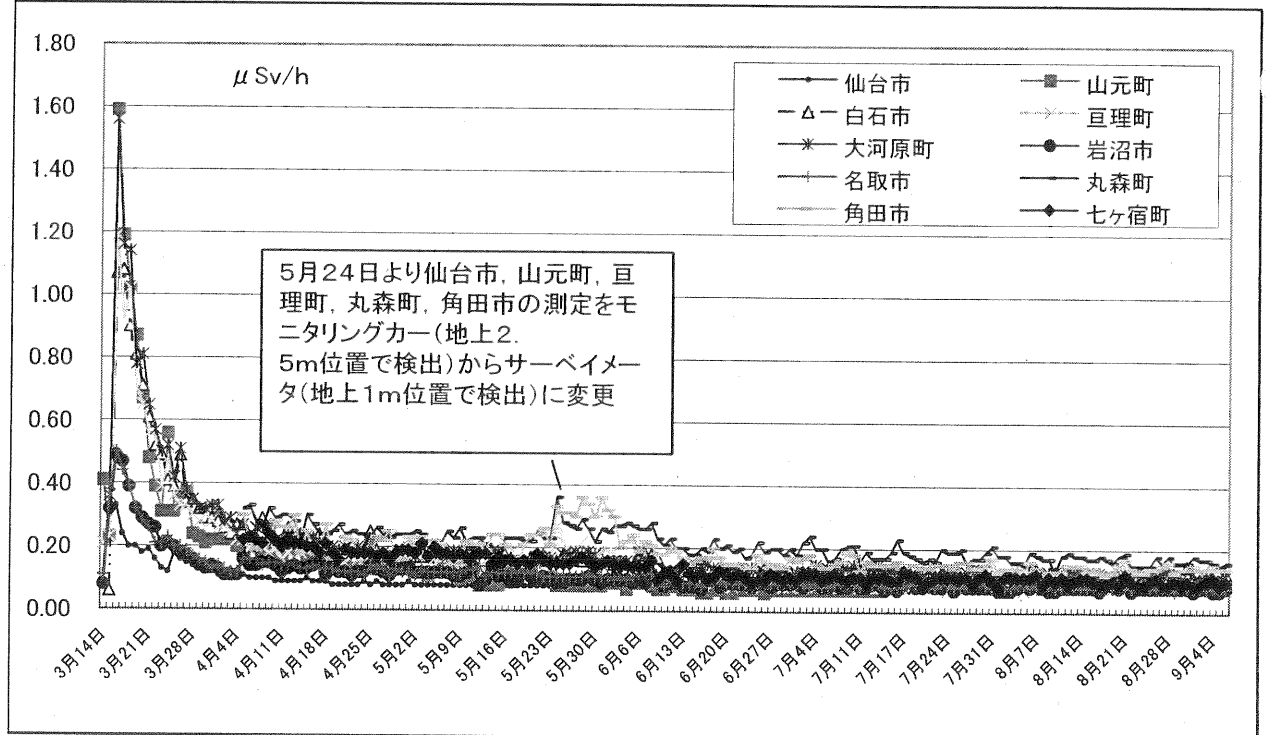
太枠で囲まれた浄水発生土については、管理型処分場に埋立可能なレベルとされる8,000Bq/kgを超える放射性セシウムが検出されたもの。

なお、これらの浄水発生土については、処分方法が決定するまで各浄水場において適切に保管管理されている。

# 宮城県内の空間放射線量率の推移

平成23年9月6日現在

	仙台市	山元町	白石市	亶理町	大河原町	岩沼市	名取市	丸森町	角田市	七ヶ宿町
3月14日	0.08	0.41		0.21		0.08	0.11			
3月15日	0.30	0.23	0.06	0.23	0.36	0.32	0.38			
3月16日	0.33	1.59	1.07	1.19	1.56	0.49	0.50			
3月17日	0.24	1.19	1.08	0.92	1.16	0.47	0.44			
3月18日	0.20	1.02	0.90	1.02	1.14	0.39	0.39			
3月19日	0.20	0.87	0.81	0.70	0.78	0.32	0.32			
3月20日	0.18	0.67	0.71	0.65	0.81	0.29	0.28			
3月21日	0.19	0.48	0.61	0.56	0.65	0.27	0.26			
3月22日	0.16	0.39	0.52	0.54	0.57	0.26	0.21			
3月23日	0.13	0.31	0.49	0.39	0.50	0.20	0.21			
3月24日	0.12	0.56	0.41	0.48	0.52	0.21	0.23			
3月25日	0.18	0.31	0.39	0.36	0.42	0.20	0.20			
3月26日	0.16	0.36	0.49	0.33	0.51	0.18	0.20			
3月27日	0.15	0.37	0.34	0.33	0.38	0.17	0.19			
3月28日	0.14	0.24	0.35	0.30	0.35	0.16	0.17			
3月29日	0.14	0.23	0.32	0.28	0.32	0.14	0.16			
3月30日	0.12	0.21	0.29	0.30	0.32	0.13	0.15			
3月31日	0.12	0.22	0.29	0.28	0.33	0.14	0.13			
4月1日	0.11	0.29	0.28	0.26	0.33	0.13	0.14			
4月2日	0.11	0.22	0.26	0.26	0.28	0.11	0.13			
4月3日	0.10	0.24	0.24	0.25	0.29	0.11	0.12			
4月4日	0.10	0.20	0.27	0.22	0.24	0.11	0.12			
4月5日	0.11	0.19	0.27	0.22	0.27	0.16	0.16	0.32	0.30	0.22
4月6日	0.10	0.21	0.20	0.19	0.22	0.14	0.16	0.33	0.21	0.23
4月7日	0.10	0.20	0.23	0.20	0.26	0.14	0.16	0.28	0.19	0.22
4月8日	0.10	0.18	0.29	0.20	0.26	0.15	0.14	0.26	0.20	0.21
4月9日	0.10	0.26	0.22	0.18	0.23	0.15	0.15	0.32	0.22	0.21
4月10日	0.09	0.18	0.22	0.19	0.22	0.14	0.15	0.29	0.28	0.22
4月11日	0.09	0.16	0.21	0.16	0.22	0.12	0.14	0.30	0.26	0.20
4月12日	0.09	0.22	0.26	0.18	0.24	0.13	0.14	0.30	0.26	0.22
4月13日	0.09	0.19	0.21	0.16	0.21	0.14	0.15	0.28	0.30	0.21
4月14日	0.09	0.19	0.24	0.18	0.23	0.13	0.13	0.22	0.18	0.21
9月1日	0.08	0.09	0.11	0.09	0.13	0.07	0.08	0.18	0.15	0.09
9月2日	0.09	0.09	0.11	0.09	0.11	0.08	0.08	0.17	0.14	0.09
9月3日	0.09	0.10	0.11	0.09	0.12	0.08	0.08	0.17	0.14	0.10
9月4日	0.09	0.10	0.12	0.09	0.11	0.07	0.08	0.16	0.15	0.11
9月5日	0.08	0.09	0.10	0.09	0.11	0.07	0.07	0.15	0.14	0.09
9月6日	0.08	0.09	0.13	0.08	0.12	0.08	0.08	0.16	0.14	0.10
	仙台市	山元町	白石市	亶理町	大河原町	岩沼市	名取市	丸森町	角田市	七ヶ宿町



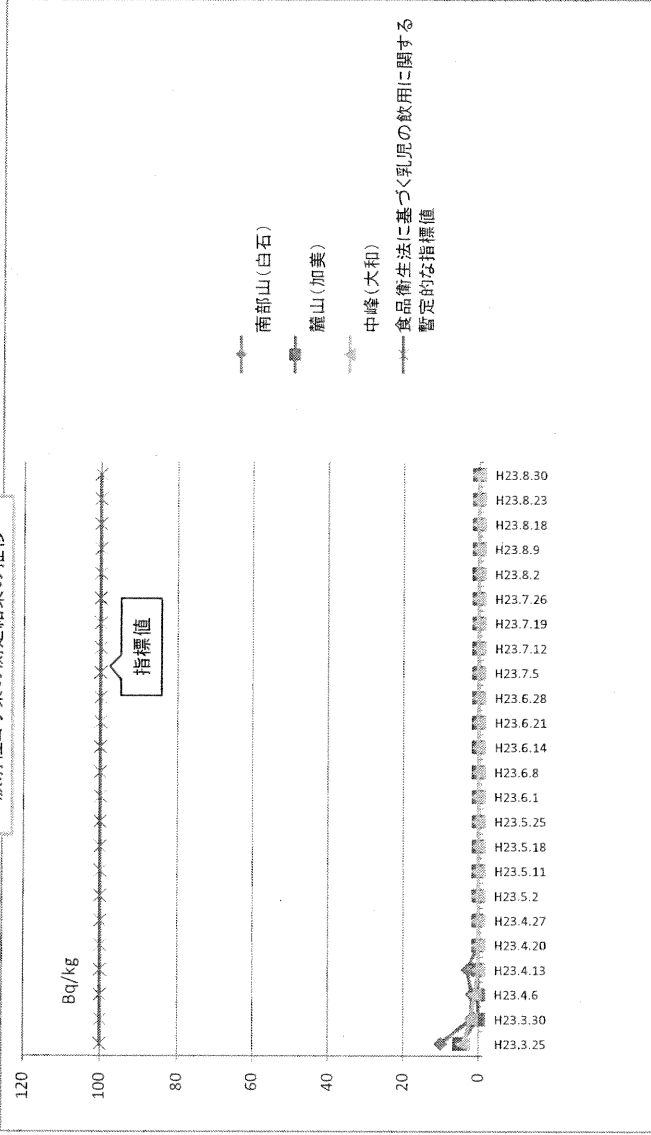
企業局水道水中の放射能測定結果

単位: Bq/kg

○放射性ヨウ素

採取日	水道水				食品衛生法に基づき乳児の飲用に際する暫定的な指標値	原子力安全委員会が定めた飲食物摂取制限に関する指標値
	仙南・仙風広域水道 勝山浄水場 (白石市)	大崎広域水道 麓山浄水場 (加美町)	大崎広域水道 中峰浄水場 (大和町)			
平成23年3月25日	10	5	4			
平成23年3月30日	2	不検出	2			
平成23年4月6日	1.7	不検出	1			
平成23年4月13日	2.9	不検出	不検出			
平成23年4月20日	不検出	不検出	不検出			
平成23年4月27日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月2日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月11日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月18日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月25日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月1日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月8日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月14日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月21日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月28日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月5日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月12日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月19日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月26日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月2日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月9日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月18日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月23日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月30日	不検出	不検出	不検出			

放射性ヨウ素の測定結果の推移

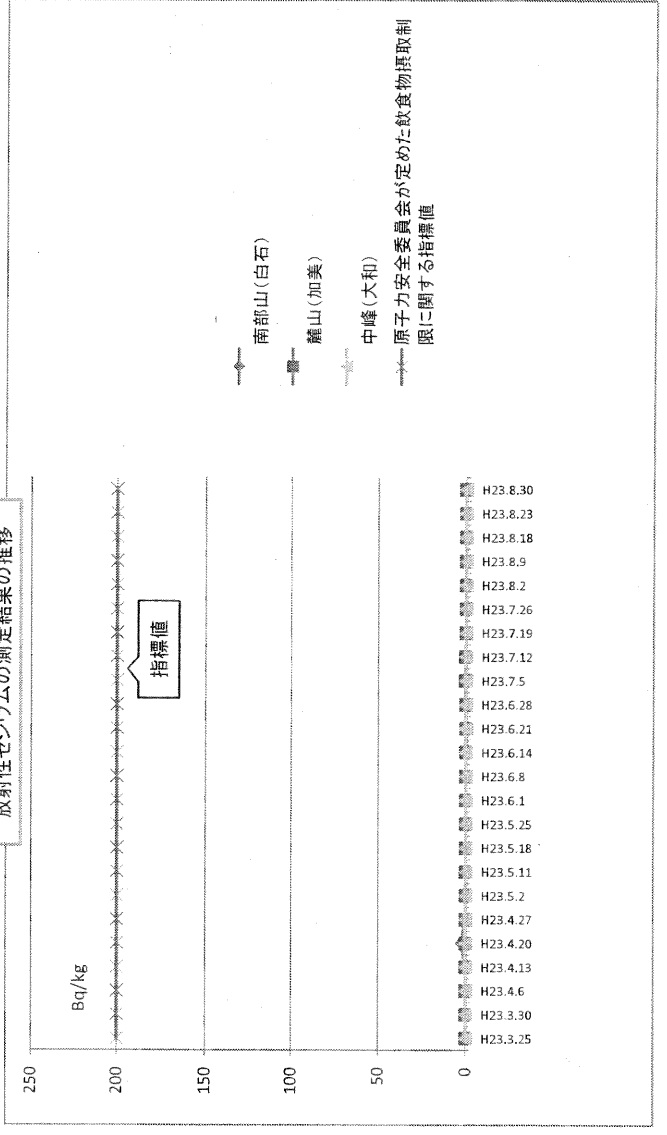


単位: Bq/kg

○放射性セシウム

採取日	水道水				食品衛生法に基づき乳児の飲用に際する暫定的な指標値	原子力安全委員会が定めた飲食物摂取制限に関する指標値
	仙南・仙風広域水道 勝山浄水場 (白石市)	大崎広域水道 麓山浄水場 (加美町)	大崎広域水道 中峰浄水場 (大和町)			
平成23年3月25日	不検出	不検出	不検出			
平成23年3月30日	不検出	不検出	不検出			
平成23年4月6日	不検出	不検出	不検出			
平成23年4月13日	不検出	不検出	不検出			
平成23年4月20日	2.1	不検出	不検出			
平成23年4月27日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月2日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月11日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月18日	不検出	不検出	不検出			
平成23年5月25日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月1日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月8日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月14日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月21日	不検出	不検出	不検出			
平成23年6月28日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月5日	0.3	0.3	不検出			
平成23年7月12日	不検出	0.2	不検出			
平成23年7月19日	不検出	不検出	不検出			
平成23年7月26日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月2日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月9日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月18日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月23日	不検出	不検出	不検出			
平成23年8月30日	不検出	不検出	不検出			

放射性セシウムの測定結果の推移





「(仮称)東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」の設立について

1. 県民会議の目的

東北地方太平洋沖地震による東京電力福島第一原子力発電所事故の影響が県内各方面に及びつつあることから、総合的な対策の検討や情報提供・情報共有などを行うため、県内の産業界や消費者団体、有識者、自治体等で構成する東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議を設置するもの。

2. 県民会議の事務

- (1) 事故による被害に係る総合的な対策に関すること。
- (2) 国等への要望等に関すること。
- (3) 事故による損害賠償請求に関すること。
- (4) その他必要と認める事項に関すること。

3. 県民会議の構成員《63者》(現在調整中)

- (1) 農林水産業関係団体：4団体（JA、JF、森林組合連合会、畜産協会）
- (2) 商工業関係団体：5団体（商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、工業会、旅行業協会）
- (3) 保健医療福祉関係団体：5団体（医師会、歯科医師会、放射線技師会、薬剤師会、看護協会）
- (4) 交通運輸関係団体：3団体（トラック協会、バス協会、港運協会）
- (5) 消費者団体：1団体（生活協同組合連合会）
- (6) 教育・文化団体：5団体（私立中学高等学校連合会、私立幼稚園連合会、保育協議会、PTA連合会、仙台市PTA協議会）
- (7) 法曹関係団体：2団体（弁護士会、税理士会）
- (8) 有識者：2名（県環境審議会会長ほか）
- (9) 市町村等：36団体（35市町村、県）

4. 県民会議の開催

【第1回県民会議】

- (1) 日 時：平成23年9月12日（月）午後1時45分から
- (2) 場 所：宮城県庁2階 講堂
- (3) 議 題：東京電力福島第一原子力発電所事故に係る現状と対策  
（調整中）



# 保健福祉部対応状況等について

※下線部が前回からの変更箇所

## 1 福祉施設の被災状況等

### ① 福祉（入所）施設の人的被害状況

種 別	入所者		職 員（里親含む）		備 考
	死 者	行方不明	死 者	行方不明	
高齢者福祉施設	288	24	50	37	
障害者福祉施設	0	0	0	0	
児童母子福祉施設	56	15	6	2	
合 計	344	39	56	39	

### ② 福祉施設等の被害額

種 別	被害額（千円）	備 考
県 有 施 設	205,250	継続調査中
県立社会福祉施設	242,010	継続調査中
民間等社会福祉施設	16,789,214	継続調査中
医療機関等	30,220,766	継続調査中
地方独立行政法人 宮城県立病院機構	374,230	継続調査中
合 計	47,831,470	継続調査中

### ③ 被災者受入調整

- ・高齢者福祉施設：15か所及び在宅被災者5市2町 31名 計335名＝県内182名 県外153名  
厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 確定 9,640施設 35,557人  
(県内の高齢者施設に対して、最低限定員1割超の受け入れを要請(3/29))
- ・障害者福祉施設：厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 暫定 2,798施設 8,756人
- ・児童母子福祉施設：厚労省 全都道府県受入れ可能施設調査 = 暫定 2,393施設 7,148人
- ・精神科病院：3病院 計300名（県内38医療機関等に223名，自宅退院28名，  
県外10医療機関に49名）

### ④ 震災孤児の状況

- ・震災孤児数 122人（親戚等による保護 120人，児童福祉施設入所2人）
- ・震災遺児数 711人（継続調査中）
- ・震災孤児等支援のための寄附口座「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」を開設(7/6～)  
(寄せられた寄附金 764件 1,000,148,411円(9/6現在))

### ⑤ 支援活動の状況

#### ■介護支援関係

- ・厚労省 全都道府県の被災地への介護職員等派遣に関する調査 4,930人(4/7現在)
- ・県介護福祉士会が石巻・女川の避難所で介護支援活動(3/19～)
- ・宮城大学(4名)が石巻の避難所で介護支援活動(3/19)
- ・NPO全国コミュニティライフサポートセンター(16人)が石巻市内と女川町内の避難所で介護支援，介護物資等搬送支援(3/22～)
- ・県ケアマネジャー協会に，居宅・避難所の要介護者への対応に係る協力を要請（各保健福祉事務所に協会各支部の連絡先を情報提供）(3/22)
- ・厚生労働省に，避難所における介護職員の派遣を要請(3/23)
- ・避難所における介護等の提供調整事務局設置(3/25～構成：県，ケアマネジャー協会，県介護福祉士会)
- ・他県からの介護職員（秋田県，徳島県，東京都，石川県等）が避難所で介護支援活動
- ・日本介護福祉士会，日本介護支援専門員協会が被災地での介護支援活動(3/26～)
- ・県社会福祉士会が石巻市牡鹿総合支所にて相談業務をサポート(4/18～)
- ・仮設住宅サポートセンターの設置(岩沼市)(7/1～)

#### ■要保護児童支援

- ・厚労省 児童福祉関係職員派遣可能数調査 保育士・児童福祉司等 866人（児童相談所等派遣）
- ・厚労省 介護職員等派遣可能数調査 保育士・児童指導員等 1,144人（社会福祉施設等派遣）

- ・厚労省に対し、要保護児童対応のための児童福祉司、児童心理司派遣を要請し、中央・東部児童相談所及び同気仙沼支所管内で活動中(4/5～)。1県1チーム(9/5～9/9)。

## ■障害者支援関係

- ・障害福祉施設関係施設の介護支援活動 全国知的障害者福祉協会が7施設で介護支援
- ・手話通訳の派遣 北海道等33機関から石巻市、東松島市等沿岸5市町で支援(～6/30)
- ・各障害者団体が現地災害対策本部を設置し、障害者福祉施設や障害者に対して支援活動
- ・海上自衛隊臨床心理士の派遣を受け、精神保健福祉センターにおいて活動(4/25～6/30)
- ・日本相談支援専門員協会による相談支援専門員派遣の受入(5/9～)
- ・本田技研工業㈱より相談支援事業所等に対する車両7台の無償貸与(6ヶ月間:10月末まで)
- ・障害児者等関係団体災害対策連絡協議会宮城県対策本部が相談窓口を開設(4/27～)

## 2 災害時医療の状況等

### ① 県内の医療機関の受診対応状況

- 宮城県HP <http://www.pref.miyagi.jp/iryuu/H23jishin/iryookikan.htm> 【随時更新中】

### ② 災害医療活動

#### ■県災害医療コーディネーターと連携し、D-MAT(災害派遣医療チーム)146チームが急性期対応(3/11～)

- ・国立仙台医療センター(基幹災害拠点病院)を中心に、災害拠点病院等と連携して急性期の患者受け入れ、搬送に対応
- ・霞の目に拠点(SCU)を置き、気仙沼、石巻等からの患者搬送など広範な活動を展開

#### ■災害医療対策本部設置(3/15～4月末)

- ・救護活動の的確かつ迅速な活動への連携強化を図るため、宮城県災害医療コーディネーター、県医師会、日赤、自衛隊・県関係課室・仙台市を構成メンバーとする会議を開催

#### ■避難所等の保健福祉活動に係る意見交換

- ・各保健所長からの状況報告、部内各課の対策状況の報告を基に災害医療コーディネーター、災害保健医療アドバイザー等の指導の下、今後の方針等を協議(3/30)

#### ■透析患者の搬送(3/22～23)

- ・搬送コーディネーターを通じ、気仙沼市78人、多賀城市、仙台近辺数名を千歳・恵庭の透析施設に防衛省輸送機により搬送

#### ■災害対策基本法に基づく医師等応援派遣要請(3/17～)

- ・医療救護班3チームが石巻市、気仙沼市等で避難住民の診療・健康相談等に従事

#### ■災害対策基本法に基づく保健師派遣要請(3/14～)

- ・8都県9チームが石巻市、気仙沼市、女川町、南三陸町等の避難所等で活動。継続派遣について、厚生労働省に要請(4/12, 5/31, 8/11)

#### ■県内市町村等の保健師派遣(9/1～)

- ・気仙沼市、石巻市、南三陸町の要請を受け、県内市町村及び保健所等保健師の派遣協力を依頼(8/24)。9/1～仮設住宅での健康調査に従事。

#### ■災害対策基本法に基づく心のケアチーム派遣要請(3/17～)

- ・19都道府県1市1団体12医療機関(国立3, 大学8, 民間1) 33チームが南三陸町、岩沼支所管内、石巻市、気仙沼市等で活動

#### ■日本看護協会等からの看護師派遣(3/22～7/1)

- ・日本看護協会等からの避難所への看護師派遣は終了。

#### ■歯科保健医療対策(災害時の歯科応急処置)(3/21～6/30)

- ・宮城県歯科医師会 「災害時の歯科医療救護に関する協定書」に基づき、応急処置を行う歯科医療救護班を派遣。派遣先:石巻市、亘理町、南三陸町、山元町等 計延べ1,317人
- ・厚生労働省を通じて歯科医師及び歯科衛生士190人(4/11～6/30)、移動歯科診療車4台(4/3～継続中)が派遣され、石巻市、南三陸町、山元町、気仙沼市等で、避難住民の歯科応急処置等に従事
- ・メーカーから歯ブラシ6,000本、歯磨き粉1,800本を支援物資として確保。山元町、亘理町、岩沼市、名取市に配送
- ・全国介護者支援協議会 歯科診療チーム(5～6人体制)及び巡回診療車を派遣。派遣先:南三陸町(5/6～5/20, 1チーム, 1台)

#### ■OT, PT派遣

- ・リハビリテーション支援センター等のリハ職が石巻市の22避難所の状況調査を実施(3/22, 4/11, 12)
- ・県作業療法士会、県理学療法士会が避難所において支援活動を実施(3/24～)



延べ799名が環境調整や運動指導、杖の調整・提供等の活動を展開

#### ■薬剤師派遣（3/14～7/31）

・「災害時における医療救護活動に関する協定」に基づき、宮城県薬剤師会から避難所や救護所等へ薬剤師を派遣（延べ4,298名）

#### ■感染症対策（避難所及び被災地における感染症の発生予防対策及びまん延防止対策）

- ・東北大学の指導の下、インフルエンザ等の感染予防・蔓延防止のため、避難所向けの注意喚起の掲示用資料と指導マニュアルを配布
- ・保健所を通じて、手指消毒薬やマスク等の衛生資材を避難所に配布（3/18～）
- ・押谷東北大学教授他による避難所における巡回調査及び指導（3/23～）

#### ■エコノミークラス症候群予防のための活動

- ・日本血栓止血学会による避難所での巡回活動実施（3/26～）
- ・東北大学病院を通じ、メーカーから弾性ストッキング1,000足の支援物資を確保。保健所を通して避難所で配布

### ③ 医薬品供給等（医薬品が不足する状況にはない）

#### ■医療用医薬品（医師の処方による調剤薬等）

- ・災害拠点病院（救護活動）、救護所 → 病院及び救護所が卸売業者に発注→医療救護班へ
- ・病院、一般診療所 → 医療機関の発注に基づき卸売業者が医療機関あて配送

#### ■一般用医薬品（市販薬・消毒薬・うがい薬・衛生資材等）

- ・宮城県薬剤師会、宮城県医師会が直接手配し、受領したものは各団体において各避難所等へ

### ④ 栄養支援活動

#### ■栄養補助食品の支援

- ・(財)日本健康・栄養食品協会を通じ、濃厚流動食22万食をメーカー各社の支援物資として提供
- ・アレルギー対応乳児用粉ミルク、嚥下補助剤についてメーカー各社から支援物資として提供
- ・給食施設支援として病院・高齢者介護福祉施設に対する無洗米、栄養補助食品を提供
- ・市町村からの要請により、ベビーフード2万食についてメーカー各社から支援物資として確保
- ・沿岸部の市町に優先的に配送
- ・総合的なビタミン、ミネラル補給のサプリメントを被災市町に配送
- ・(財)日本健康・栄養食品協会に対し、微量栄養素補給、消化機能の弱った方のためのサプリメントの被災市町への直接配送
- ・ビタミン強化米、妊婦用葉酸強化食品、アイソトニックゼリー等を調整し希望する市町に配布

#### ■避難所等における栄養ケア

- ・「避難所における食事状況・栄養関連ニーズのアセスメント」を沿岸部（気仙沼、石巻、塩釜保健所管内）の全避難所で実施（第3回：6/11～20）
- ・49か所の避難所で第3回栄養アセスメントを実施。ビタミンCは栄養参照量と比べ約2割不足したが、エネルギー、たんぱく質及びビタミンB群は充足。
- ・災害対策基本法に基づき、9県2市の管理栄養士が石巻市、東松島市、気仙沼市、南三陸町、亶理町で避難住民の栄養改善活動に従事。（7月31日までの従事人員：延497人）
- ・社団法人宮城県栄養士会及び社団法人日本栄養士会の管理栄養士が、3市2町で栄養・食生活支援に協力。（7月31日までの協力人員：延623人）

## 3 災害ボランティア活動

■宮城県災害ボランティアセンターを宮城県社会福祉会館内に設置（3/12～）、宮城県自治会館に移転（3/29～）

■知事の要請に対応し、内閣府に震災ボランティア連携室設置（3/16） 県・県内関係者と協議（3/17）

■市町村災害ボランティアセンター活動状況（宮城県災害ボランティアセンター調べ）

【9/3(土)】設置数：8市5町 14ヶ所 活動ボランティア数：231人

【9/4(日)】設置数：8市5町 14ヶ所 活動ボランティア数：185人

## 4 応急仮設住宅関係

#### ■県土木部と県保健福祉部にて対応

- ・第1弾として仮設住宅1万戸の確保を(社)プレハブ建築協会に要請（3/14）
- ・宮城県と(社)プレハブ建築協会により応急仮設住宅建設用地調査（3/17～）
- ・公営住宅、民間賃貸住宅の物件リスト調査提供中
- ・市町村説明会実施 沿岸市町には出向いて説明（3/22～24）

- ・応急仮設住宅の建設戸数を2万戸追加し、3万戸確保することを決定(4/1)
- ・度重なる余震による地割れ発生のため、一部建設中止(2市町 211戸)(4/13)
- ・応急仮設住宅の提供事務の一部を市町村に委任(4/19)
- ・15市町(336団地 19,767戸)の応急仮設住宅完成、入居開始(4/28から順次)
- ・民間賃貸住宅の紹介に関する3団体合同コールセンターの開設(5/2～)
- ・応急仮設住宅第1次から第16次分15市町(合計400団地 22,050戸)
- ・民間賃貸住宅借り上げによる応急仮設住宅について(入居決定件数 23,359件【9/2現在】)
- ・保健福祉総務課災害救助法対応チームの職員を増員し、応急仮設住宅等業務の機能を強化(5/18)
- ・5市2町で計35棟の高齢者・障害者向けグループホーム型仮設住宅を着工。(8/5から順次入居開始)
- ・県サポートセンター支援事務所開設(9/5～)

## 5 その他の被災者救済・援護

- ・宮城県に寄せられた義援金 168,348件 22,555,845,423円 (9/2現在)  
宮城県災害義援金配分委員会設置(4/8)。第一回配分委員会4/13開催。中央の「義援金配分割合決定委員会」から示された配分基準に基づき県の一次配分の配分額を決定。市町村説明会開催(4/18)  
第二回配分委員会5/16開催。県災害対策本部受付分の義援金の配分について決定。第三回配分委員会6/24開催。義援金受付団体受付分と宮城県災害対策本部受付分の義援金の2次配分について決定。  
一次配分・二次配分合計額 ①死者・行方不明者 100万円 ②災害障害見舞金対象者 10万円  
③全壊世帯 100万円 ④大規模半壊世帯 75万円 ⑤半壊世帯 50万円 ⑥震災孤児 50万円  
⑦母子・父子世帯 20万円 ⑧高齢者・障害者施設入所者 10万円
- ・生活福祉資金(緊急小口資金)貸付:3/27受付開始 5/10受付終了
- ・国保・後期高齢者医療等の窓口一部負担金及び保険料の減免、支払い猶予について市町村へ通知
- ・国保・後期高齢者医療等窓口一部負担金の免除は、平成24年2月29日までの間(平成23年7月1日以降は被保険者証と免除証明書(女川町と南三陸町を除く)の提示が必要。)
- ・児童扶養手当・母子寡婦資金等の特別措置等
- ・介護保険制度上の柔軟な対応について、市町村及び介護事業者へ周知  
(被災者等の利用者負担と保険料の減免等、介護施設等の定員超過、要介護認定等に関する特例)
- ・児童福祉施設における定員超過措置等の柔軟対応について各施設に周知
- ・妊婦健康診査の居住市町村以外での柔軟対応について各市町村に通知
- ・障害者自立支援制度上の柔軟な対応について、市町村及び障害福祉サービス事業所等に周知  
(利用者負担の徴収猶予、支給決定・障害程度区分の認定の有効期間の延長等)
- ・被災に伴う国民健康保険等の被保険者等への支援について3県(岩手県、宮城県、福島県)で厚労省へ要望(3/22)
- ・被災に伴う後期高齢者医療制度への財政支援について、後期高齢者医療広域連合で厚労省へ要望(3/28)
- ・被災に伴う国民健康保険の有効期限が満了する被保険者証の取扱いについて、3県(岩手県、宮城県、福島県)で厚労省へ要望(3/30)

## 6 その他

- ・職員安否 子ども総合センター職員1名死亡(3/18確認)  
気仙沼保健福祉事務所非常勤職員1名死亡(4/16確認)
- ・被災公所 仙台保健福祉事務所→原則として現在の庁舎を使用(一部業務は仙台合同庁舎に移転)  
東部保健福祉事務所・東部児童相談所→石巻専修大学体育館内に移転(4/18～)
- ・公用車の提供 広島県を通してマツダ(株)より車両提供の申し出  
宮城県対がん協会より避難所への医薬品輸送車両の提供及びその運行(3/26～5/12)  
結核予防会宮城県支部より避難所での感染症対策巡回調査用車両の提供(3/23～5/31)
- ・日本赤十字社による被災者支援(4/6)
- ①応急仮設住宅に入居される全世帯に対する生活家電セット(6点:洗濯機、冷蔵庫、テレビ、炊飯器、電子レンジ、電気ポット)の配備
- ②定員を超えて受け入れを行っている介護施設における介護用ベッドの配備
- ③被災市町村、被災社会福祉施設等の車両の配備

## 7 地方独立行政法人宮城県立病院機構

被災地への医師派遣、外来・入院受付、受入調整対応、検視業務支援、東北大学病院への職員派遣等

# 東日本大震災

## 経済商工観光部所管施設等の状況（9月7日 10:00現在）

### 第90報

#### 1 経済商工観光部関係被害額

・工業関係	5,900億円（推計値 調査中）
・商業関係	1,450億円（推計値 調査中）
・観光施設被害	216億円（推計値 調査中）
・部内所管施設	47億円（調査中）
計	7,613億円

#### 2 所管施設の状況

施設名	概況
産業技術総合センター	外壁にクラックあり
高等技術専門校(白石)	設備の配管にズレ、壁・床にひび割れ
〃 (仙台)	体育館の壁面落下、配管から漏水、通路変形
〃 (大崎)	本館基礎のひび割れ、段差、機材の落下
〃 (石巻)	床上浸水被害、実習棟建物のゆがみ
〃 (気仙沼)	ガラス破損、壁の軽微なひび割れ
宮城障害者職業訓練校	窓ガラス、消火栓配管破損、通路天井一部落下
松島公園管理事務所	事務所水没、レストハウスガラス全損、県営駐車場水没
宮城海外研修員会館	外壁亀裂、タイル落下等
夢メッセ	1階部分水没、車両が流れ込むなどの被害
ガレージファクトリー名取	ガラス破損等
商工振興センター	天井のズレ、外壁タイル剥離

#### 3 新たに講じた支援策等

- 「中小企業経営安定資金・災害復旧対策資金（東日本大震災災害対策枠）」の創設  
（取扱期間：平成23年4月1日から平成23年9月9日（融資実行分）まで）
- 東日本大震災による内定取消者への県立高等技術専門校の追加募集  
（募集期間：平成23年4月15日から平成23年4月22日まで）
- 東日本大震災の被災者に対する県立高等技術専門校入学金等の免除  
（実施期間：平成23年4月15日から平成24年3月31日まで）
- 「復興へ 頑張ろう！みやぎ」ロゴマークの作成（平成23年4月15日から）
- 県内企業が製造する工業製品の残留放射能測定に係る技術支援の実施  
（支援期間：平成23年4月18日から）
- 雇用創出基金事業を活用した緊急的な雇用の創出
- みやぎの観光復興情報「むすび丸だより」の発行（毎週水曜日発行）
- 高等技術専門校の訓練開始（平成23年5月10日から）
- 勤労者地震災害特別融資制度の創設  
（受付期間：平成23年5月20日から平成23年9月30日まで）
- 「中小企業経営安定資金・みやぎ中小企業復興特別資金」の創設  
（取扱期間：平成23年6月27日から平成24年3月31日（融資実行分）まで）
- 高等技術専門校 特別訓練コース（建設重機操作科）の訓練開始（平成23年8月25日から）
- 「宮城県雇用維持奨励金」制度の創設  
（支給対象期間：平成23年8月1日から平成24年3月31日まで）

#### 4 その他の状況

##### ○企業等からの支援

アイリスオーヤマ(株), 朝日ヶ丘運輸(株), EGL tours, 出光興産(株), NECトーキン(株)仙台事業所, NPO災害ボランティア福井, グンゼ(株), ケルヒージャパン(株), 小林製薬(株), JX日鉱日石エネルギー(株), (株)JTB, スクール・エイド・ジャパン, 住友商事東北(株), (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン, 積水ハウス(株), セントラル自動車(株), ダイハツ工業(株), 宝ホールディングス(株), 東京エレクトロン(株), 東洋ゴム工業(株), トヨタ自動車(株), トヨタ紡織(株), (株)ニッセン, 日東電工(株), GE, フジパングループ本社(株), 三井物産(株), 三菱商事(株), リコー(株), 他

##### ○海外からの支援

イラン, インド, ウズベキスタン, キルギス, タイ, 大韓民国, パキスタン, フィリピン, フランス, マレーシア, ロシア, 吉林省, 在日英国大使館, 香港経済貿易代表部, WFP (国連世界食糧計画), 中華民国工商協進会 他

## 「宮城県雇用維持奨励金」制度の実施について

宮城県では3月11日に発生した東日本大震災（以下「大震災」という。）により、沿岸地域を中心に多数の企業が被災し、事業活動の縮小を余儀なくされている。

これらの企業に対しては、国から雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金（以下「雇用調整助成金等」という。）による支援が行われ、その結果、多くの労働者の雇用維持が図られているところである。

しかしながら、大震災から6か月が経過した現在においても、なお、全面的な操業に至っていない企業が多数に上っており、長期間に及ぶ雇用調整は企業にとって大きな負担となることから、今後、これらの企業において、従業員を解雇せざるを得ない状況となることが懸念されている。

このため、県では、休業等の雇用維持のための措置を実施した事業主に対して、国の雇用調整助成金等に上乘せし、その経費の一部を助成する「宮城県雇用維持奨励金」制度を創設し、失業の予防と事業再開に向けた雇用の維持を図ることにしたものである。

### 記

#### 1 奨励金の名称

「宮城県雇用維持奨励金」

#### 2 支給対象期間

平成23年8月1日～平成24年3月31日

#### 3 支給対象事業主

次のいずれにも該当する事業主

- (1) 大震災発生時、宮城県内に雇用保険適用事業所を有し、当該事業所において大震災の影響により事業活動の縮小を余儀なくされたこと。
- (2) 平成23年8月1日から平成24年3月31日までの間に、雇用維持のために雇用調整（休業、教育訓練又は出向）を適正に実施したこと。
- (3) 当該雇用調整について、国から雇用調整助成金等の支給を受けたこと。

#### 4 奨励金の支給額

雇用の維持のために行われた休業、教育訓練又は出向に要した費用の10分の1に相当する額（大企業は9分の1）。

ただし、休業、教育訓練については、1人1日1,000円、出向については、1人1支給対象期132,000円を上限とする。



## 東日本大震災 農林水産部関係対応状況

(前回からの変更部分にアンダーライン)

### 1 農林水産関係被害の状況

別紙「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況について（第31報）」にとりま  
とめており、現時点の被害額は約1兆2,274億円（うち津波被害額は約1兆1,930億円）  
となっている。概況は以下のとおりである。

#### (1) 農業関連

##### ①農地・農業用施設

- ・ 用排水機場等の損壊、農地の浸水等。被害額は約3,812億円。

##### ②農業関係施設

- ・ 園芸施設、乾燥施設、農業倉庫等の損壊等。被害額は約317億円。

##### ③農業用資機材

- ・ トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機等の被害。被害額は約435億円。

##### ④農作物等

- ・ いちご、野菜類、米、大豆等が浸水等の被害。被害額は約66億円。

##### ⑤生活環境施設

- ・ 集落排水施設の損壊等。被害額は約269億円。

##### ⑥農地海岸保全施設

- ・ 海岸防潮堤等の損壊。被害額は約245億円。

#### (2) 畜産関連

##### ①畜産施設等

- ・ 畜舎等の損壊。被害額は約34億円。

##### ②家畜等

- ・ 乳牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー等の餓死、水死等。被害額は約7億円。

##### ③畜産品等

- ・ 生乳等の出荷停止。被害額は約9億円。

#### (3) 林業関連

##### ①林道施設

- ・ 林道の舗装亀裂、法面崩壊等。被害額は約5億円。

##### ②林地

- ・ 海岸部の保安林の流出、倒伏、林野火災等。被害額は約76億円。

##### ③治山施設

- ・ 海岸防潮堤等の損壊。被害額は約51億円。

##### ④林産被害

- ・ キノコ生産施設、林産物搬送施設等の損壊等。被害額は約4億円。

#### (4) 水産業関連

##### ①水産施設

- ・ 共同利用施設、流通加工施設等の損壊等。被害額は約482億円。

##### ②漁港施設

- ・ 漁港施設、海岸保全施設等の損壊等。被害額は約4,223億円。

##### ③漁船等

- ・ 20 t 未満の漁船（12,005隻）の大破、滅失等。被害額は約1,022億円。
- ・ 20 t 以上の漁船（18隻）の大破等。被害額は約107億円。

##### ④養殖施設

- ・ 養殖施設及び増殖場等の損壊、滅失。被害額は約494億円。

##### ⑤水産物等

- ・ ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ等の流失等。被害額は約332億円。

##### ⑥漁業用資材

- ・ 定置網、養殖用資機材（乾燥機等）の損壊、滅失。被害額は約190億円。

#### (5) その他（県所管施設等）

- ・ 水産技術総合センター等13機関、漁業取締船等6隻の損壊・滅失等。被害額は約93億円。

## 2 県の対応状況

### 【農業関係】

#### (1) 作付調整

- ・ 津波被害を受けた作付不能水田の面積分について、他市町村・他県と調整し、削減希望面積約5,700haのうち、約4,600haを確保。

#### (2) 東日本大震災早期営農再開支援センターの設置

- ・ 被災農業者に対して総合的支援を行うためのワンストップ窓口を開設。
- ・ 被災農家等に対して、県内外から寄せられた就農情報を提供した件数（9/5現在、1,652件）。
- ・ 営農再開へ向けた相談件数（9/5現在、788件）。具体的な事例としては、農地を借り受けたキク栽培の再開やイチゴ栽培の再開に向けた取組など。

#### (3) 農地等の排水対策

- ・ 農地の排水機場は69機場で被災。復旧状況（8/31現在）は、全てのポンプが稼働可能32機場、最低1台のポンプが稼働可能15機場。
- ・ 主要な48施設のうち、47施設については1台以上のポンプが稼働済み。残る1施設については9月末までに稼働予定。
- ・ 仙台東部、名取、亶理、東松島等各地域の排水対策は、応急ポンプを配備済み。

#### (4) 農地・農業用排水路等の災害廃棄物処理（一次処理）

- ・ 農業用排水路等の災害廃棄物の処理80キロメートル（名取市ほか3市3町）を実施し、8月末で作業終了。
- ・ 農地の災害廃棄物の処理、6,830haを実施中。（名取市ほか1市3町、進捗率30%）。12月末までに作業終了予定。

#### (5) 農地の除塩対策

- ・ 津波による浸水被害農地約14,300haのうち、一部（約1,100ha）では緊急的な除塩対策に取り組み、今年産の水稲作付け等を実施。



## (6) 復興応援米販売

- ・ 倉庫内で荷崩れ被害を受けた県産米を、6/2から義援金付き商品として販売。

### 【水産業関係】

#### (1) 冷凍・冷蔵庫保管物の海洋投入処分

- ・ 4/11から作業を開始し、石巻地区（女川含む）は6/24で、気仙沼は7/1ですべての処理が終了。
- ・ 処理の総量は、海洋投入5.3万トン、埋立処分1.7万トン。

#### (2) 陸上打ち上げ船舶の処理

- ・ 悉皆調査については、5月末で終了。3,768隻の船舶を確認。
- ・ 国のガイドラインに基づき、仮置き場を確保した市町から実施予定。

#### (3) 漁港・漁場の廃棄物処理

- ・ 県営漁港については、全27漁港の航路・泊地を、7月11日までに作業終了。
- ・ 市町営漁港も順次作業を実施しており、概ね9月末までに終了する予定。
- ・ 漁場は、沿岸漁場を5つのブロックに分け、5/16から撤去作業に着手。8/27現在、全作業予定面積の約62%の作業を終了し、約116,000立米のガレキを撤去。  
なお、優先的に撤去作業を行ってきたワカメや種ガキ漁場は、7月末で一通り終了。
- ・ サイドスキャンソナーを用いた海底状況調査は7月末で終了。調査結果については、関係機関へ提供し今後のガレキ撤去作業へ活用。

#### (4) 県内産地魚市場の状況

- ・ 水揚げ機能の応急復旧に取り組んでおり、塩釜（4/14）、気仙沼（6/23）、亶理（6/25）、女川（7/1）、志津川（7/4）、石巻（7/12）は再開済み。
- ・ 牡鹿は9月下旬の再開を予定しており、七ヶ浜は9月中に仮設市場を設置予定。

### 【放射能関係】

#### (1) 放射能測定結果（農林水産部対応分）

- ・ 農林水産物については、これまで調査した品目全てにおいて、飲食制限に関する指標値を下回っている。検査は週1回実施しており最新の調査結果は本日公表予定。
- ・ 牧草については、乳用牛と肥育牛への粗飼料暫定許容値を超える放射性セシウムが検出され、栗原市の一部で給与自粛要請を継続中。
- ・ そのほか飼料用とうもろこし、発酵粗飼料用イネについては、すべて暫定許容値を大きく下回っている（8/12現在）。
- ・ 原発事故後に収集した稲わらについて検査したところ、暫定許容値を上回る結果となり、引き続き、県内全域で牛への給与の自粛を要請。
- ・ 同稲わらを給与した複数の牛の肉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたことを受け、平成23年7月28日付けで原子力災害対策本部長（内閣総理大臣）から牛の出荷等に係る制限指示を受ける。県内約6,000戸の牛の飼育農家に対し、同指示を周知。
- ・ 出荷制限の解除に向け検査体制の構築等について関係機関と調整を図り、8月19日付けで原子力災害対策本部長から、牛の出荷制限の一部解除指示を受ける。なお、8月23日から出荷を再開。

- ・ 米の放射性物質調査については、32市町村で予備調査を実施中（※<sup>1</sup>）。また、本調査については33市町村で実施予定（※<sup>2</sup>）。

※1…全35市町村のうち水稲の作付けのない若しくは少ない塩竈市、七ヶ浜町、女川町を除く。

※2…水稲の作付けのない塩竈市、女川町を除く。

- ・ 牛ふん堆肥の放射性物質調査については、33市町村で8/26から抽出検査<sup>※3</sup>を開始。9/6現在、9市町の検査結果が判明し、3市町の牛ふん堆肥3検体で暫定許容値を超過。今後、個別検査<sup>※4</sup>を実施予定。

※3…原発事故後に収集された汚染稲わらを給与されていない牛の排せつ物等を原料とする牛ふん堆肥を1市町村それぞれ3ヶ所を抽出調査（多賀城市、女川町を除く33市町村が対象）。

※4…原発事故後に収集された汚染稲わらが給与された牛の排せつ物等を原料とする牛ふん堆肥を個別に検査（塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町を除く27市町村が対象）。

## (2) 賠償関係

- ・ 牧草から暫定許容値を超える放射性物質が検出されたことなどを受け、農業者等の賠償請求をとりまとめる窓口が設置された（6/13）。

名称：JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会

構成：JA、宮城県酪農組合、JA宮城中央会、全農宮城県本部など

- ・ 原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針が示された（8/5、農林漁業・食品産業の風評被害として、本県において産出された牛肉、関連加工品及び食用に供される牛等について明示）。

- ・ 協議会で取りまとめを行った野菜及び牧草等に係る約2億2千万円の損害賠償を東京電力に請求。（8/31）

## 【災害査定】

- ・ 激甚災害の指定（政令公布：平成23年3月13日）を受け、農地等は復旧費の8～9割、養殖施設は復旧費の9割の補助見込み。
- ・ 被害算定手法及び災害復旧事務の簡素化を要望（3/17）。

（9/2現在）

所管	種別	被害件数	災害査定実施状況		査定期間
			件数	決定額(千円)	
水産庁	漁港施設	3,433	32	7,615,457	1次査定(7/19)～4次査定以降(12月末予定)
林野庁	治山及び林道施設	96	41	367,642	(治山)1次査定(6/6)～3次査定(11月上旬) (林道)1次査定(7/4)～3次査定(11月中旬)
農村振興局	農地・農業用施設	2,765	529	14,860,636	1次査定(5/12)～22次査定(12月上旬)
計		6,294	602	22,843,735	

※件数は概数であり、市町村等分を含む。

平成23年9月7日 9時現在  
農 林 水 産 部

## 東日本大震災による被害状況について(第31報)

### 1 農林水産関係被害額

(1) 農業関連被害額 計	514,393,592 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(487,124,511 千円)	[調査中]
(2) 畜産業関連被害額 計	5,009,460 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(1,577,876 千円)	[調査中]
(3) 林業関連被害額 計	<u>13,665,705 千円</u>	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(11,278,593 千円)</u>	[調査中]
(4) 水産業関連被害額 計	684,997,841 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(683,846,207 千円)	[調査中]
(5) その他(県所管施設) 計	9,319,614 千円	[調査中]
(うち津波被害額)	(9,208,551 千円)	[調査中]
合 計	<u>1,227,386,212 千円</u>	[調査中]
(うち津波被害額)	<u>(1,193,035,738 千円)</u>	[調査中]

\* 前回からの変更部分にアンダーラインをしています。

## 2 農林水産関係被害額の概要

【被害種別】	【関係市町村】	【箇所数等】	【被害内訳】	【被害額】
<b>(1) 農業関連被害</b>				
①農地・農業用施設被害	県内全ての市町村 (仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、	4,617箇所 (794箇所)	用排水路・農道等の損壊 (用排水機場等の損壊、農地浸水14,341ha等)	381,224,056千円 [調査中] (368,980,760千円) [調査中]
②農業関係施設被害	石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町)	22,431箇所 (22,050箇所)	農業倉庫・コントリーエレベーター等の損壊 (園芸施設等の損壊)	31,727,366千円 [調査中] (28,524,751千円) [調査中]
③農業用資機材被害		14,165台 (14,160台)	トラクター、コバ、田植機、乾燥機 (トラクター、コバ、田植機、乾燥機)	43,461,000千円 [調査中] (43,460,000千円) [調査中]
④農作物被害(ha)		895ha (891ha)	いちご、野菜類、麦類、花き等 (いちご、野菜類、麦類等)	2,669,281千円 [調査中] (2,612,850千円) [調査中]
④農作物被害(t)		20,620t (20,620t)	米、大豆の浸水、流失等 (米、大豆の浸水、流失等)	3,929,000千円 [調査中] (3,929,000千円) [調査中]
⑤生活環境施設被害		106箇所 (21箇所)	集落排水施設等の損壊 (集落排水施設の損壊)	26,850,739千円 [調査中] (15,085,000千円) [調査中]
⑥農地海岸保全施設被害		102箇所 (102箇所)	海岸防備堤の損壊(26.5km) (海岸防備堤の損壊(26.5km))	24,532,150千円 [調査中] (24,532,150千円) [調査中]
<b>(2) 畜産関連被害</b>				
①畜産施設等被害	多賀城市、七ヶ浜町、女川町を除く県内全ての市町村	108箇所 (37箇所)	畜舎・たい肥センター等の損壊 (畜舎の損壊)	3,394,408千円 [調査中] (1,243,446千円) [調査中]
②家畜等被害	(丸森町、仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、栗原市、石巻市、東松島市、気仙沼市、南三陸町)	1,496,395頭(羽) (142,290頭(羽))	乳牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー (乳牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー、みつばち)	725,519千円 [調査中] (334,430千円) [調査中]
③畜産品等被害		8,273t (-t)	生乳、解卵用たまご (-)	889,533千円 [調査中] (一千円) [調査中]
<b>(3) 林業関連被害</b>				
①林道施設被害	白石市、角田市、蔵王町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、	564箇所 (165箇所)	舗装路面の亀裂、法面の崩壊等(159路線) (舗装路面の亀裂、法面の崩壊等(41路線))	526,147千円 [調査中] (188,787千円) [調査中]
②林地被害	仙台市、塩釜市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、	97箇所 (26箇所)	新生崩壊、保安林流失等(849.5ha)、林野火災(188.1ha) (保安林流失等(839.1ha)、林野火災(188.1ha))	7,603,890千円 [調査中] (6,116,070千円) [調査中]
③治山施設被害	七ヶ浜町、大和町、大衡村、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、	50箇所 (32箇所)	土留工の損壊、海岸防備堤の損壊(9,004m) (海岸防備堤の損壊(9,004m))	5,090,149千円 [調査中] (4,833,350千円) [調査中]
④林産被害(林振)	栗原市、登米市、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町(仙台市、塩釜市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町、七ヶ浜町、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町)	72箇所 (11箇所)	キノコ生産施設、林産物搬送施設、キノコ菌床の損壊等 (キノコ生産施設、林産物搬送施設等の損壊等)	428,932千円 [調査中] (123,799千円) [調査中]
④ " (森整)		2箇所 (2箇所)	苗畑・種苗(スギ、ヒノキ等0.9ha、約10万本) (苗畑・種苗(スギ、ヒノキ等0.9ha、約10万本))	16,587千円 [調査中] (16,587千円) [調査中]
<b>(4) 水産業関連被害</b>				
①水産施設被害	県内の沿岸市町〔仙台市、塩釜市、名取市、多賀城市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町〕	582箇所 (561箇所)	共同利用施設、流通加工施設、内水面施設の損壊等 (共同利用施設、流通加工施設の損壊等)	48,245,150千円 [調査中] (47,241,306千円) [調査中]
②漁港施設被害		213箇所 (213箇所)	漁港施設(140漁港)、海岸保全施設(64海岸)、漁業集落排水施設(9地区)の損壊(同)	422,254,106千円 [調査中] (422,254,106千円) [調査中]
③漁船等被害		12,023隻 (12,023隻)	大破・滅失等(20t未満12,005隻、20t以上18隻) (大破・滅失等(20t未満12,005隻、20t以上18隻))	112,900,000千円 [調査中] (112,900,000千円) [調査中]
④養殖施設被害		106,962箇所 (106,962箇所)	カキ等養殖施設(106,955施設)、アサリ等増殖場(7施設) (カキ等養殖施設、アサリ等増殖場)	49,380,795千円 [調査中] (49,380,795千円) [調査中]
⑤水産物等被害		99,045t (98,945t)	ノリ、ワカメ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ、鯉等 (ノリ、ワカメ、コンブ、カキ、ホタテ、ホヤ、ギンザケ)	33,247,790千円 [調査中] (33,100,000千円) [調査中]
⑥漁業用資材被害		1,572箇所 (1,572箇所)	定置網(831網)、養殖用資機材(741台)の損壊等 (定置網(831網)、養殖用資機材(741台)の損壊等)	18,970,000千円 [調査中] (18,970,000千円) [調査中]
<b>(5) その他(県庁施設等)</b>				
①農業系施設被害	名取市、岩沼市、大衡村、大崎市、石巻市、女川町、気仙沼市	4箇所 (1箇所)	農業・園芸総合研究所本館等 (-)	49,472千円 [調査中] (一千円) [調査中]
②畜産系施設被害		2箇所 (1箇所)	畜産試験場、岩出山牧場 (-)	54,364千円 [調査中] (一千円) [調査中]
③林業系施設被害		1箇所 (1箇所)	林業技術総合センター (-)	7,227千円 [調査中] (一千円) [調査中]
④水産系施設被害		12箇所 (12箇所)	水産技術総合センター等(6)、船舶(6) (水産技術総合センター等(6)、船舶(6))	9,208,551千円 [調査中] (9,208,551千円) [調査中]

\* 下段の( )書きは、津波被害によるもので内数です。

\* 前回からの変更部分に網掛けをしています。

# 東日本大震災

## 土木部関連公共施設等の状況（9月7日10:00現在）

### 第90報

（アンダーラインは前回からの変更箇所）

#### 1 災害調査状況及び災害査定状況

##### (1) 被害状況等

単位：百万円

種別	工種	県所管分		市町村所管分 (仙台市除く)		合計		仙台市	合計
		(調査率 92%)		(調査率 83%)				所管分	
		件数 (箇所)	概算被害額	件数 (箇所)	概算被害額	件数 (箇所)	概算被害額	概算被害額	
公共土木施設	道路	1,604	49,445	2,714	21,287	4,318	70,732	73,112	143,844
	橋梁	141	7,168	43	1,192	184	8,360	8,765	17,125
	河川	642	109,845	22	4,000	664	113,845	800	114,645
	ダム	28	952			28	952		
	海岸	63	98,990			63	98,990		
	砂防	39	1,694			39	1,694		
	公園	6	3,265	275	35,000	281	38,265	8,140	46,405
	都市災	10	3,100	101	4,000	111	7,100		
	港湾	526	76,270			526	76,270		
	下水道	109	73,400	341	139,990	450	213,390	150,080	363,470
県営住宅	102	4,217			102	4,217			
小計		3,270	428,346	3,496	205,469	6,766	633,815		
空港関連施設		-	-	-	-	3	10,300		
土木部所管施設		13	300			13	300		
合計		3,283	428,646	3,496	205,469	6,782	644,415	240,897	885,312
前回比		13	151	0	0	13	151		
国直轄分	(河川, 海岸, 道路, 港湾など)								106,870
NEXCO東日本									12,000
宮城県道路公社分									420
公共土木施設・交通基盤施設 計									1,004,602
住宅関係									3,537,500
総計									4,542,102

##### (2) 災害査定状況

- ・沿岸市町の災害調査や査定・災害復旧事務について、全面的に支援
- ・5月10日から水管理・国土保全局所管の河川・道路について実施
- ・6月6日から都市局所管の公園災・都市災について実施
- ・7月7日から港湾局所管の施設について実施
- ・9月1日から住宅局所管の災害公営住宅に係る住宅減失戸数の査定を実施

所管	区分	県所管分		市町村所管分 (仙台市除く)		合計	
		件数	額(千円)	件数	額(千円)	件数	額(千円)
水管理・国土保全局	決定分	989	22,400,147	1,831	16,104,663	2,820	38,504,810
	(下水道) 決定分	38	11,339,579	195	21,163,485	233	32,503,064
都市局	決定分	10	525,289	38	504,081	48	1,029,370
港湾局	決定分	56	9,551,745	-	-	56	9,551,745

住宅局所管の災害公営住宅に係る住宅減失戸数の査定結果(9/1~2 実施分)

実施市町村数：2    査定戸数：3,049

##### (3) 宮城県ホームページへの被災及び復旧状況の掲載について

- ・「東日本大震災」関連公共土木施設被災状況を随時更新  
 <[http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk\\_taiou/index.htm](http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk_taiou/index.htm)>

## 2 公共土木施設復旧・復興状況

- 各施設の復旧・復興の工程表を作成し、4月21日に公表  
[http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk\\_taiou/index.htm](http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk_taiou/index.htm)
- 復旧工事は、原則3カ年以内で、浸水区域においてまちづくりと調整が必要な箇所は概ね5カ年で完了を目指す。

### ○道路施設

- 道路の復旧工事については、原則として3ヶ年で完了させる。
- 通行規制箇所274箇所の内210箇所が解除済みであり、64箇所（全止19箇所、片交45箇所）が規制中である。
- その内、緊急輸送道路については、通行規制67箇所の内52箇所解除済みであり、残り15箇所（全止5箇所、片交10箇所）が規制中である。
- 通行規制中の箇所については、大規模被災箇所等を除き年内の規制解除を目指す。

【交通規制解除の見込み】 ※ [ ] は緊急輸送道路

規制種別	H23.9.5 現在 規制数	規制解除時期			
		H23.12末		H24.3末	
		解除数	規制数	解除数	規制数
全面通行止め	19 [5]	13 [4]	6 [1]	4 -	2 [1]
片側交互通行	45 [10]	35 [6]	10 [4]	4 [3]	6 [1]
合計	64 [15]	48 [10]	16 [5]	8 [3]	8 [2]

① 全面通行止め箇所の内訳(合計19 [5] 箇所) ※ [ ] 及び◎は緊急輸送道路

1) 付近に迂回路無し(小計11 [4] 箇所)

- ◇橋梁重大損傷 3 [2] 箇所 ◎398号 新北上大橋  
 ◎石巻工業港矢本線 定川大橋  
 ・古川松山線 志田橋
- ◇土砂崩壊等 6 [1] 箇所 ◎牡鹿半島公園線 小積浜～鮎川浜 等
- ◇津波による路面流出等 2 [1] 箇所 ◎398号 石巻市北上町橋浦 等

2) 付近に迂回路有り(小計8 [1] 箇所)

- ◇橋梁重大損傷 1 [-] 箇所 ・相馬亙理線 高浦橋
- ◇土砂崩壊等 1 [-] 箇所 ・釜谷大須雄勝線 石巻市雄勝町名振船越
- ◇津波による路面流出等 6 [1] 箇所 ◎関上港線 名取市関上 等

② 片側交互通行の内訳(合計45 [10] 箇所)

- ◇橋梁損傷 3 [2] 箇所
- ◇土砂崩壊等 16 [5] 箇所
- ◇津波による路面流出等 2 [1] 箇所
- ◇段差陥没等 24 [2] 箇所

③ 宮城県道路課ホームページへ県管理道路の交通規制状況推移(半年間)を掲載

<<http://www.pref.miyagi.jp/road/>>

### ○河川施設

- 浸水区域外の河川は、出水期前の5月末までに応急復旧、今後概ね2カ年で本復旧完成
- 浸水区域の河川は、台風期前の8月中に堤防補強、本復旧についてはまちづくりとの調整が必要な箇所は5カ年程度で完成
- 貞山運河は、年度内に復興計画を策定
- ダム施設については、洪水期終了後の10月から概ね1カ年で本復旧を完成

- ・津波浸水エリアにおける施設の早急な復旧と行方不明者の捜索活動のための排水作業は全て完了（排水終了箇所 全 11 市町，全 86 箇所）
- ・浸水地域における調査対象河川 51 河川について，二次調査が完了

【河川の応急工事状況】

応急工事箇所	うち完了箇所	応急工事完了箇所
70	70	七北田川，定川，大川，他

○海岸保全施設

- ・三陸南沿岸及び仙台湾中部沿岸は，台風期前の8月中までに瓦礫撤去，堤防仮復旧を実施，本復旧は引き続き5カ年程度で完成
- ・仙台湾南部沿岸は，国土交通省が県と同様のスケジュールで復旧
- ・調査対象海岸63地区海岸について，二次調査が完了

【海岸の応急工事状況】

応急工事箇所	うち完了箇所	応急工事完了箇所
28※	28	石巻長浜海岸，折立海岸，他

※港湾海岸2箇所（石巻港堤防応急工事完了）を含む

○砂防・地すべり・急傾斜地崩壊防止施設

- ・内陸部の公共施設災(5箇所)は全て査定済み。順次，本復旧工事に着手

○港湾施設

- ・仙台塩釜港・石巻港・松島港・気仙沼港は，平成24年度内に完全復旧
- ・女川港湾口防波堤は，査定後本格的な復旧工事に着手，その他地方港湾の施設については，地元自治体のまちづくり復興計画との整合を図りながら早期復旧
- ・荷主や船主などの港湾利用者に対し，港湾物流機能の復旧状況について正確な情報を提供，引き続きポートセールスを積極的に展開
- ・第3回石巻港復興会議（8月5日），第3回仙台塩釜港復興会議（8月8日）を開催し，「石巻港復旧・復興方針」及び「仙台塩釜港復旧・復興方針」をとりまとめ，公表
- ・海岸等に漂着したコンテナの撤去作業開始（8月23日）（年内終了予定）
- ・ガントリークレーン2号機が9月5日より供用再開
- ・45フィートコンテナ積載の第1船が9月15日に出航予定（別紙資料P10）
- ・外貿定期コンテナ航路が9月26日より再開予定（別紙資料P11）

【主要港湾の応急復旧状況】

港名	全岸壁数	利用可能数	復旧率
仙台塩釜港（仙台港区）	14	13	93%
仙台塩釜港（塩釜港区）	24	24	100%
石巻港	17	14	82%

※石巻港南浜大型栈橋が利用可能に

【地方港湾の応急復旧状況】

港名	全岸壁数	利用可能数	復旧率
気仙沼港	6	6	100%
女川港	2	2	100%

【その他地方港湾】

被害状況調査完了 松島港，雄勝港，荻浜港，表浜港，金華山港，御崎港

【仙台塩釜港・石巻港の大気中の放射線及び海水中の放射能測定結果】

1. 大気中の放射線量測定結果

・平成23年5月より1週間に2回測定を実施。結果は以下のとおり。県内各地の放射線量と同等かそれ以下の値。

(単位：μSv/h)

月日	仙台塩釜港(仙台港区) 高砂コンテナターミナル	仙台塩釜港(塩釜港区) 貞山1号埠頭	石巻港 中島埠頭
5月18日(水)	0.065	—	—
5月24日(火)	—	—	0.080
6月14日(火)	0.030	0.044	0.070
・ ・ ・			
8月26日(金)	0.041	0.047	0.055
8月30日(火)	0.041	0.036	0.049
9月2日(金)	0.034	0.044	0.053
最大値	0.065 (5月18日)	0.057 (6月17日)	0.080 (5月24日)

2. 海水中の放射能測定結果

・平成23年5月より2週間に1回採取し、東北大学の協力にて測定。結果は以下に示すとおり全て不検出

月日	仙台塩釜港(仙台港区) 高砂コンテナターミナル		仙台塩釜港(塩釜港区) 貞山1号埠頭		石巻港 中島埠頭	
	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 ヨウ素	放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性セ シウム
5月18日(水)	不検出	不検出	—	—	—	—
5月24日(火)	—	—	—	—	不検出	不検出
6月23日(木)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
・ ・ ・						
8月18日(木)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

○下水道関係

【処理場】

(1) 仙塩流域・阿武隈川下流流域・北上川下流東部下水道

- ・処理場内において沈澱・消毒により簡易処理を行いながら復旧工事を進める
- ・平成24年度上半期から段階的に高級処理（生物処理）に切り替え、平成25年度までに完全復旧



仙塩流域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインポンプ全台復旧（4台） 処理場内で沈澱処理に仮ばっ気工程を加えた簡易処理を実施中</li> <li>・水処理施設の汚泥に関して、脱水機運転による汚泥処理と、場外排出を開始</li> <li>・仮ばっ気により、放流水の平均BOD値が160mg/lから100mg/l程度まで改善。大腸菌群数も減少し、基準を満足するケースも見られる</li> </ul>
阿武隈川下流流域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインポンプ全台復旧（5台） 処理場内で沈澱処理に仮ばっ気工程を加えた簡易処理を実施中</li> <li>・名取ポンプ場は仮設ポンプで運転中</li> <li>・仮ばっ気により、放流水の平均BOD値は170mg/lから160mg/l程度となり改善の傾向が見られる。大腸菌群数も減少し、概ね基準を満足している</li> </ul>
北上川下流東部流域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインポンプ2台（3台のうち）復旧 応急対策として処理場内の沈澱処理を実施中</li> <li>・放流水の平均BOD値は40mg/lで、概ね60mg/l以下となっている。大腸菌群数は概ね基準を満足</li> </ul>

## (2) 公共下水道

石巻市	<p>&lt;雄勝浄化センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働停止中(処理区域壊滅につき汚水流入なし)</li> <li>・まちづくりを踏まえた復旧手法を検討中</li> </ul>
気仙沼市	<p>&lt;気仙沼終末処理場&gt; 稼働停止中(市内10箇所において消毒放流中)</p> <p>&lt;津谷街浄化センター&gt; 応急対応中(発電機により沈殿・消毒放流中)</p> <p>両処理場とも復旧については日本下水道事業団に依頼済み</p>
山元町	<p>&lt;山元浄化センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急対応中(発電機により沈殿・消毒放流中)</li> <li>・まちづくりを踏まえた復旧手法を検討中</li> </ul>
南三陸町	<p>&lt;志津川浄化センター&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急対応中(発電機により沈殿・消毒放流中)</li> <li>・まちづくりを踏まえた復旧手法を検討中</li> </ul>

### 【管渠】調査進捗状況（7月13日現在）

流域名・市町村	総延長 (km)	調査済延長 (km)	沿岸部未調査 延長(km)	被災確認延長 (km)
仙塩流域	26.2	9.2	17.0	0.3
阿武隈川下流流域	90.7	68.7	22.0	1.15
鳴瀬川流域	21.1	21.1	0.0	0.04
吉田川流域	28.3	28.3	0.0	0.25
北上川下流流域	27.6	26.0	1.6	0.10
迫川流域	55.5	55.5	0.0	0.03
北上川下流東部流域	44.7	36.7	8.0	0.01
小計	294.1	245.5	48.6	1.88
市町村	5,033.5	4,359.1	674.4	140.60
合計	5,327.6	4,604.6	723.0	142.48

## 【放射能及び空間線量率測定結果】

### 1 下水汚泥放射能測定結果

平成23年6月7日, 6月16日, 7月26日~27日, 8月23日~24日に東北大学の協力にて測定し, セシウムの合計値は保管及び埋め立て処分を行う上で制限が適用される8,000Bq/kgを大幅に下回っていた。8月の測定ではいずれも検出限界(30Bq/kg)以下だった。

### 2 下水処理場内の空間線量率測定結果

平成23年5月18日~6月16日に下水処理場14箇所(流域下水道 6箇所 公共下水道 8箇所)で測定し, ほとんどの処理場において県内の空間線量率測定結果と比較して大きな違いはなかった。

平成23年7月26日~27日, 8月23日~24日にも下水処理場5箇所(流域下水道 5箇所)で測定を行ったが, 県内の空間線量率測定結果と比較して大きな違いはなかった。

## ○仙台空港関連施設

### 【仙台空港運航状況】

- ・4月13日, 国内線の運航が一部再開
- ・7月25日から国内線の定期便再開 1日41往復運航  
(札幌⑬, 成田②, 小松①, 中部⑥, 伊丹⑬, 広島①, 福岡④, 沖縄①)
- ・9月25日から仙台ーソウル線再開 (アジアナ航空による発表)
- ・10月2日から仙台ーグアム線再開 (ユナイテッド航空による発表)
- ・10月30日から仙台ー台北線再開 (エバー航空による発表)
- ・平成24年3月25日から仙台ー上海ー北京線, 同27日から仙台ー大連ー北京線再開  
(中国国際航空による発表)

### 【仙台空港ビル】

- ・4月13日, 一部供用
- ・5月24日, 国土交通省より仙台空港の今後の復旧の見通しについて, 次のとおり発表
  - ① 9月末の供用を目標に, 仙台空港の旅客ターミナルビル(CIQ施設を含む)の全面的な復旧工事の支援を実施
  - ② 7月25日を目標に, 国内線旅客取扱能力を増加(時間あたり1便→時間あたり2便)させるとともに, 国際定期便の就航が可能
  - ③ 6月下旬より国際チャーター便(施設の制約がある中で対応可能なものに限る。)については, 先行して就航が可能となるような暫定的措置を実施
- ・7月25日, 旅客ターミナルビル1階及び2階供用開始
- ・9月11日, 旅客ターミナルビル3階及び展望デッキ供用開始(予定)
- ・9月25日, 旅客ターミナルビル完全復旧(予定)

### 【仙台エアカーゴターミナル】

- ・7月25日, 貨物ターミナル施設復旧
- ・8月1日, 国際航空貨物の通関に必要な保税蔵置場設置  
仙台ー成田空港間のトラックサービス再開
- ・全焼した国際貨物棟は解体撤去中(9月中旬完了予定)

### 【仙台空港アクセス鉄道】

- ・4月2日から列車運行再開まで代行バスを運行
- ・名取駅から美田園駅間で7月23日に暫定運行開始
- ・10月1日に名取駅から仙台空港駅間全線再開予定

【りんくうタウン】

- ・美田園地区は、換地処分等の作業・手続きを予定どおり進め、平成23年度中に解散、同時にまちづくりの成熟を支援

○都市公園

- ・仙台港多賀城地区緩衝緑地、岩沼海浜緑地及び矢本海浜緑地は、仮置きしている瓦礫の撤去が完了次第、本復旧工事に着手、岩沼浜緑地を除き、H26年度内に復旧工事完了
- ・加瀬沼公園及び県総合運動公園は、今年度下半期に本復旧工事着手、年度内完了
- ・9月1日から11月30日までの期間限定で加瀬沼公園を暫定開園

【空間線量率測定結果】

平成23年8月18日に県立都市公園2箇所（加瀬沼公園及び宮城県総合運動公園（土木部が所管する緑地部分））において地上0.5m及び1.0mで空間線量率を測定した結果、2公園の測定値は最大0.12 $\mu$ Sv/hで、国（文部科学省）が4月に設定した暫定基準値3.8 $\mu$ Sv/hを大幅に下回っていた。

○仙台港背後地

- ・街路、下水道、宅地等の本復旧工事は、9月下旬に街路から工事に着手、H24年度上半期に工事を完了

○応急仮設住宅

- ・既に公表済みの着工済み戸数等について、下記のとおり一部変更。具体的には、石巻市の1団地で着工済み戸数に増減があった。
- ・第1次から第16次までの着工分として、これまでに、15市町において400団地、22,042戸全戸が着工し、そのうち385団地20,764戸が完成した。

【着工済み戸数と予定】

市町村	要望戸数	着工済み戸数(第1次~16次)	進捗率(%)	建設団地数	完成戸数	完成率(%)
仙台市	1,523	1,523	100.0	19	1,523	100.0
石巻市	7,297	7,297	100.0	131	6,359	87.1
塩竈市	206	206	100.0	7	206	100.0
気仙沼市	3,451	3,451	100.0	87	3,369	97.6
名取市	910	910	100.0	8	889	97.7
多賀城市	373	373	100.0	6	373	100.0
岩沼市	384	384	100.0	3	384	100.0
東松島市	1,753	1,753	100.0	25	1,753	100.0
亘理町	1,126	1,126	100.0	5	1,126	100.0
山元町	1,030	1,030	100.0	11	1,030	100.0
七ヶ浜町	421	421	100.0	7	421	100.0
女川町	1,294	1,294	100.0	30	1,057	81.7
南三陸町	2,195	2,195	100.0	58	2,195	100.0
大郷町	15	15	100.0	1	15	100.0
美里町	64	64	100.0	2	64	100.0
計	22,042	22,042	100.0	400	20,764	94.2

○建築制限・まちづくり

- ・甚大な津波被害を被った沿岸部市町の復興を支援するため、地元の意向を踏まえ、復興まちづくり計画を策定

【建築制限の実施】

被災地の無秩序な開発を防ぐための建築制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月8日指定</li> <li>・ 建築基準法に基づき緊急避難的に建築を制限（気仙沼市, 南三陸町, 女川町, 東松島市, 名取市, 石巻市（特定行政庁））</li> <li>・ 5月11日建築制限の特例法に基づき、建築制限を延長（5月12日から9月11日まで）（11月11日まで延長可能）（気仙沼市, 南三陸町, 女川町, 東松島市, 名取市, 石巻市（特定行政庁））</li> <li>・ 建築制限の特例法に基づき建築制限を新たに実施（7月1日から9月11日まで）（山元町）</li> <li>・ 被災市街地復興特別措置法に基づき、石巻市は9月12日（予定）に復興推進地域を指定（建築制限は、災害があった日から最長2ヶ年）、<u>その他市町は特例法の建築制限を延長する。</u></li> </ul>
----------------------	---

○住宅の応急修理

- ・ 市町村の取り組みへの積極的な支援  
（申込み受理件数：33,672件, うち工事完了件数：11,455件（9月6日現在））

○県有建築施設への対応

- ・ 被災した県有建築物の早期復旧を目指して、計画的に復旧工事等を進めていく。

【土木部関係施設】

- ・ 東部土木事務所応急改修工事 7月供用開始
- ・ 気仙沼合庁仮設庁舎建築工事 9月末完成
- ・ 石巻港湾事務所応急改修工事 9月末完成

【県有建築物被災状況調査】

調査依頼数 187施設（全て調査済） 被害額 27,416 百万円

【県有建築物災害復旧工事】

災害復旧の執行依頼数	全体事業費	発注済	完成
<u>105 施設</u>	<u>16,094 百万円</u>	<u>94 施設</u>	<u>2 施設</u>

○土木部所管の公共施設上の災害廃棄物処理について

- ・ 国道、県道については、災害廃棄物の撤去及び緊急仮置場等への搬出が完了。
- ・ 河川については、ほぼ治水上問題ない状況まで撤去処理を終えている。
- ・ 公園、下水道等の施設においては、一部災害廃棄物の仮置場として使用されているが、仮置場以外の区域の集積作業を進めている。

【災害廃棄物処理状況】

施設名	対象数①	着手数②	着手率 ②/①	完了数 ③	完了率 ③/①
道路	165.4 km	165.4 km	100%	165.4 km	100%
河川	155.3 km	<u>154.1</u> km	99.2%	<u>152.2</u> km	<u>98.0%</u>
海岸	<u>32.2</u> km	<u>27.3</u> km	72.2%	<u>17.2</u> km	<u>53.5%</u>
公園	71.1 ha	71.1 ha	100%	<u>69.7</u> ha	<u>98.0%</u>
港湾(臨港道路)	59.6 km	59.6 km	100%	59.6 km	100%
下水道	43.8 ha	43.8 ha	100%	20.2 ha	46.1%
仙台港背後地 (道路)	9.9 km	9.9 km	100%	9.9 km	100%

※ 実施路線、河川、海岸等の施工箇所及び延長については随時状況確認しながら実施中

※ 海岸対象延長については、調査の結果、対象延長を精査したものである。

※ 港湾については主要港湾（仙台塩釜港・石巻港・気仙沼港）を対象とする

記者発表資料  
平成23年9月5日  
宮城県土木部港湾課  
担当：振興班 川越、三浦  
企画調査班 布川  
電話：022-211-3221・3214

## 45フィートコンテナの第1船出航について（日本初）

日本で初めて、45フィートコンテナが公道輸送され、北米に向けて輸出されますのでお知らせします。

45フィートコンテナの公道輸送については、宮城県が国に申請していた「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」が本年3月25日に構造改革特区として認定されたことを受けて、今回、荷主企業である東洋ゴム工業株式会社及び輸送企業の準備が整い、商業ベースでの輸送が開始される運びとなったものです。

45フィートコンテナは、自動車用タイヤを積載し、東洋ゴム工業株式会社仙台工場（岩沼市）から公道を通行して仙台塩釜港高砂コンテナターミナルに搬入され、45フィートコンテナを積載したコンテナ船が9月15日に出航予定です。

この第1船は、内航フィーダー船で、東京港で大型コンテナ船に積み替えられ、北米（ロサンゼルス港）に向かいます。

### 1 45フィートコンテナの公道輸送開始に至る経緯

- 公道輸送実験
  - ◇ 平成22年11月16～20日 東北国際物流戦略チーム（(社)東北経済連合会、東北地方整備局、東北運輸局）が実証実験を実施
- 構造改革特区
  - ◇ 平成23年2月3日 国に構造改革特区の認定申請
  - ◇ 平成23年3月25日 国が構造改革特区を認定

### 2 「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」の動き

- 「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」が宮城県全域において構造改革特区として認定されたのを受け、輸送企業が規制緩和要件で特殊車両通行許可を取得
- 規制緩和に加えて税制・財政上の支援措置等が講じられる総合特区についても、本年9月に指定申請する予定

### 3 報道公開について

- 公開日時：平成23年9月15日（木）
- 公開内容：コンテナヤード搬入状況及び45フィートコンテナ積載第1船出航
- 公開場所：仙台塩釜港（仙台港区）高砂コンテナターミナル内
  - ※ 現在、出航時刻等は未定ですので、詳細が判明しましたらご案内します。
- 高砂コンテナターミナルは、保安対策上、立入制限区域となっております。現場の取材を希望される場合には、事前登録が必要となりますので、下記期限まで、裏面により当課に御連絡ください。
- 連絡期限：9月13日（火）午後5時まで

記者発表資料  
平成23年8月25日  
宮城県土木部港湾課  
担当：川越、三浦（内線3221）

## 東日本大震災後初 「外貿定期コンテナ航路が再開されます！！」

東日本大震災後、仙台塩釜港（仙台港区）への寄港が休止されていた、中国／韓国航路が、9月26日（月）から再開されますのでお知らせします。

これまで、コンテナ貨物の輸出入については、6月8日の内航フィーダー航路の再開により、京浜港経由での輸出入は可能となっておりましたが、今回、再開される航路は、仙台塩釜港と中国や韓国をダイレクトに結ぶ航路ですので、物流の選択肢がさらに広がることになります。

特に震災後、この航路が休止したことで、他港まで陸送せざるを得なかった荷主企業にとっては、航路再開によって物流コストの削減につながることを期待されます。

今回の定期航路再開を契機に、東北唯一の国際拠点港湾として、企業の生産活動の回復に貢献できるよう、今後も外貿定期コンテナ航路の再開に向けて取り組んでまいります。

### 記

#### 1 寄港再開日時

平成23年9月26日（月）より毎週月曜日寄港（週1便）

※ 現在、船舶入港及び荷役開始時刻等は未定ですので、取材の申込のあった方に対し、集合場所等も含め前日までにお知らせします。

#### 2 寄港船社

南星海運(株)（代理店：南星海運ジャパン(株)、塩竈港運送(株)）

#### 3 第1船寄港船舶

(1) 船名 Star Unix

(2) 全長 142.7メートル

(3) 総トン数 9,522トン

(4) コンテナ積載個数 962TEU※

※TEU (twenty-foot equivalent unit) : 20フィートコンテナ (5.9m×2.3m×2.3m) を1TEUとした単位。

#### 4 寄港地

仙台（月）～釜山（木）～蔚山・光陽（金）～大連（土-日）～青島（月）  
～釜山（水-木）～新潟（金）～苫小牧（日）～仙台（月）

#### 5 現場取材の申込方法

高砂コンテナターミナルは保安対策上、立入制限区域となっております。

現場での取材を希望される場合には、事前登録が必要となりますので、9月21日（水）までに裏面により当課に御提出願います。





## ご遺体の検視作業の現状

警察本部

遺体安置（収容）状況（9月6日午後8時現在）

1 総数 9,447体（累計）

2 6日の収容数 5体

No.	地域	安置（収容）場所	安置（収容）数	
			6日	現収容数
1	仙台・塩釜周辺	仙台東警察署（一時安置場所）	0	0
		塩釜警察署（一時安置場所）	0	0
		仙台南警察署（一時安置場所）	0	0
2	亘理・山元周辺	亘理警察署（一時安置場所）	0	0
3	名取・岩沼周辺	岩沼警察署（名取市分・一時安置場所）	0	0
		岩沼警察署（岩沼市分・一時安置場所）	0	0
4	石巻・東松島 ・女川周辺	旧上釜ふれあい広場	0	1
		旧上釜ふれあい広場（東松島）	0	1
		旧上釜ふれあい広場（女川）	4	7
		旧上釜ふれあい広場（飯野）	0	2
5	気仙沼周辺	すば一く気仙沼	1	1
6	南三陸周辺	スポーツ交流会館（仮）（南三陸町）	0	2
合 計			5	14

※ 8月24日（水）から9月5日（月）までの収容数

24日（水）	2体
25日（木）	2体
26日（金）	2体
27日（土）	5体
28日（日）	3体
29日（月）	9体
30日（火）	0体
31日（水）	1体
1日（木）	0体
2日（金）	3体
3日（土）	2体
4日（日）	0体
5日（月）	4体
計	33体





海上保安庁  
平成 23 年 9 月 7 日

## 海上保安庁の活動状況

### 1 行方不明者等の搜索

○巡視船艇・航空機による搜索、潜水搜索を継続して実施

#### <ご遺体の揚収状況> (宮城県)

	揚収数	備考
8月24日～9月6日	18	・ 広田湾 (8/28, 8/29) ・ 気仙沼湾 (9/6) ・ 志津川湾 (8/29* 3) ・ 雄勝湾 (8/30) ・ 女川湾 (8/24, 8/29* 2, 9/1, 9/2, 9/5, 9/6* 4) ・ 石巻港内 (9/2)
累計	201	

### 2 漂流船舶の調査等

○巡視船艇・航空機により海上漂流物や漂流船舶等の調査を継続して実施

#### <漂流船舶の曳航状況> (東北太平洋沿岸海域)

	曳航完了数	所有者引渡し隻数
8月24日～9月6日	0	0
累計	85	63

平成 23 年 9 月 6 日 (火) 1700 現在



# 東日本大震災に伴う公立学校等の被害状況等について( 査継続中)

宮城県教育委員会  
平成23年9月7日(水)9時現在

事務所	市町村	学校数 (公立幼稚園・学校)	人的被害等(人)				施設被害等 (校数)	その他 避難先となつ ている学校数	
			死者 <small>幼児・児童・生徒</small>	不明(確認中含む) <small>幼児・児童・生徒</small>	教職員	負傷者 <small>幼児・児童・生徒</small>			
	県立学校	97	72	2	12	1	91	3	
	仙台市	201	6		9	9	199		
大河原管内	白石市	24					17		
	角田市	14					12		
	蔵王町	13					11		
	七ヶ宿町	3					2		
	大河原町	5					5		
	村田町	9					8		
	柴田町	10					9		
	川崎町	12					4		
	丸森町	13					1		
	計	103					69		
	仙管内	塩竈市	12	1				11	
		名取市	20	23	1			17	
亘理町		10	2				10		
山元町		7	7				7		
岩沼市		8	3				8		
松島町		7					4		
多賀城市		10					10		
七ヶ浜町		5	1				5		
利府町		9					9		
大和町		9					4		
大郷町		6					6		
富谷町		14					14		
大衡村	3					3			
計	120	37	1			108			

事務所	市町村	学校数 (公立幼稚園・学校)	人的被害等(人)				施設被害等 (校数)	その他 避難先となつ ている学校数
			死者 <small>幼児・児童・生徒</small>	不明(確認中含む) <small>幼児・児童・生徒</small>	教職員	負傷者 <small>幼児・児童・生徒</small>		
北管内	大崎市	61				1	23	
	加美町	17					13	
	色麻町	5					4	
	涌谷町	12				1	8	
	美里町	14					13	
計	109				2	61		
栗原管内	栗原市	64				2	45	
東管内	石巻市	71	163	11	19	1	71	25
	東松島市	16	28		5		14	
	女川町	5	2		2		5	2
	計	92	193	11	26	1	90	27
登米管内	登米市	48					48	
南三陸管内	気仙沼市	40	5		8	2	38	9
	南三陸町	8	2	2	1		8	
	計	48	7	2	9	2	46	9
合計		882	315	16	47	3	757	39

(参考)校種別

種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
児童・生徒等	7	163	65	75	5	315
教職員	0	23	10	12	0	47
不明	0	11	3	1	1	16
不明	0	3	0	0	0	3

【施設被害額(調査継続中)】

- 県立学校: 91校 26,428,955 (千円)
- 市町村立学校: 666校 51,355,887 (千円)
- 社会教育施設: 591施設 28,495,539 (千円)
- 文化財施設等: 297件 5,810,000 (千円)
- 国立学校施設: 5施設 69,000,000 (千円)
- 研究施設等: 5施設 1,400,000 (千円)
- 合計: 182,490,381 (千円)

(県立学校計には2カ所の教員宿舎、市町村立学校計には4カ所の給食センター被害額を含む)



## 東日本大震災に係る企業局所管施設等の状況 (平成23年9月7日8:30現在)

### 1 被害状況報告

#### (1) 大崎広域水道事務所関係

- ①大崎広域水道は、4月12日全て復旧完了  
(広域水道37箇所での被害を確認し、32箇所復旧済み(5箇所は用水供給に支障なし))  
応援給水終了(6月18日)
- ②仙台北部工業用水道は、4月1日全て復旧完了  
(工業用水道7箇所での被害を確認し、復旧済み。4月7日の地震では被害無し)

区分	件数	概算被害額(千円)
水道用水供給事業	37	533,432
工業用水道事業	7	72,278

#### (2) 仙南・仙塩広域水道事務所関係

- ①仙南・仙塩広域水道は、4月16日全て復旧完了  
(広域水道15箇所での被害を確認し、14箇所復旧済み(1箇所は用水供給に支障なし))

区分	件数	概算被害額(千円)
水道用水供給事業	15	505,946

#### (3) 工業用水道事務所関係

- ①仙塩・仙台圏工業用水道は、4月22日全て復旧完了  
(工業用水道113箇所での被害を確認し、110箇所復旧済み(3箇所は用水供給に支障なし))

区分	件数	概算被害額(千円)
工業用水道事業	113	522,641

#### (4) アクセル等関係

- 応急危険度判定を実施し、構造体に問題ないことを確認(3月17日 14:30)  
車両等漂着物の撤去作業に着手(3月19日 8:00)  
車両等漂着物を駐車場北東の一角に集積済み(3月20日 17:00)  
応急工事に着手(仮囲い作業)(3月22日 9:00)  
災害による開口部の閉鎖、駐車場の清掃完了(3月24日 16:40)  
応急工事(仮囲い作業)完了(3月29日 16:30)  
4月7日の地震の影響について施行業者による目視点検実施。構造体には問題なし(4月8日 13:40)  
応急仮復旧工事着工(4月15日 8:00)  
オフィス供用再開(5月1日 8:30)

区分	件数	概算被害額(千円)
地域整備事業	4	902,799

※アクセルの(株) 仙台港貿易促進センター持分の被害額を含む。

企業局所管施設等の被害状況(平成23年9月7日 8:30現在)

地震種別	事務所名等		件数	概算被害額(千円)	備考
3月11日 東日本 大震災	上	大崎広域水道事務所関係	37	533,432	
	水	仙南・仙塩広域水道事務所関係	15	505,946	
	上水計		52	1,039,378	
	工	大崎広域水道事務所関係	7	72,278	
	水	工業用水道事務所関係	113	522,641	
	工水計		120	594,919	
	地域整備事業関係		4	902,799	
	合計		176	2,537,096	

※ 地域整備事業関係には株式会社仙台港貿易促進センターの持分に係る被害額を含む。



## 宮城県企業局の工業用水及び浄水発生土の放射能測定結果について

宮城県企業局の工業用水及び浄水場で発生した浄水発生土について、東北大学の協力を得て、放射能測定を行いましたので、その結果についてお知らせします。

### 1 工業用水の結果

- (1) 採取年月日 下表のとおり  
 (2) 測定年月日 平成23年8月25日  
 (3) 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼）  
 (4) 測定結果 測定した結果は以下のとおりです。

(単位：Bq/kg)

採取場所	採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム (Cs-137)	放射性セシウム (Cs-134)
仙塩工業用水道 大槻浄水場配水池（仙台市）	平成23年8月25日	不検出	不検出	不検出
仙台圏工業用水道 熊野堂沈砂池（名取市）	平成23年8月24日		不検出	不検出
仙台北部工業用水道麓山浄水場 工業用水配水池（加美町）	平成23年8月25日		不検出	不検出

### 2 浄水発生土の結果

- (1) 採取年月日 下表のとおり  
 (2) 測定年月日 平成23年8月24日  
 (3) 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼）  
 (4) 測定結果 測定した結果は以下のとおりです。

(単位：Bq/kg)

採取場所	採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム (Cs-137)	放射性セシウム (Cs-134)
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場（白石市）	平成23年8月22日	不検出	1,217	951
大崎広域水道 麓山浄水場（加美町）	平成23年8月22日		103	72
仙塩工業用水道 大槻浄水場（仙台市）	平成23年8月19日		479	369

※ 大崎広域水道中峰浄水場、仙台北部工業用水道衛東浄水場においては、新たな浄水発生土が発生していないことから、今回、放射能測定は実施していません。

#### (5) 今後の対応

浄水発生土については、搬出を停止し、場内に保管しています。今後も概ね2週毎に測定し、公表する予定です。

なお、今後の保管・処分方法については、平成23年6月16日付け厚生労働省局長通知「放射性物質が検出された浄水発生土の当面の取扱いに関する考え方」に基づき、適切に行ってまいります。（参考 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001fxly-att/2r9852000001g27y.pdf>）

## 宮城県企業局の工業用水の放射能測定結果について

宮城県企業局の工業用水について、東北大学の協力を得て、放射能測定を行いましたので、その結果についてお知らせします。

- 1 採取年月日 下表のとおり
- 2 測定年月日 平成23年9月2日
- 3 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼）
- 4 測定結果 測定した結果は以下のとおりです。

(単位: Bq/kg)

採取場所	採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム (Cs-137)	放射性セシウム (Cs-134)
仙塩工業用水道 大楯浄水場配水池 (仙台市)	平成23年9月1日	不検出	不検出	不検出
仙台圏工業用水道 熊野堂沈砂池(名取市)	平成23年8月31日		不検出	不検出
仙台北部工業用水道 麓山浄水場 工業用水配水池(加美町)	平成23年9月1日		不検出	不検出

(参考)

工業用水における放射性物質濃度の指標値はありませんが、原子力安全委員会が示している飲料水の指標値は以下のとおりとなっております。

○飲食物摂取制限に関する指標

核種	原子力施設等の防災対策に係る指針における摂取制限に関する指標値 (Bq/kg)
放射性ヨウ素	300
放射性セシウム	200